

令和4年度 社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会 事業報告

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった一年ではあったが、一方では新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済・社会活動の両立を図る様々な取組が行われるなど、少しずつ新しい生活様式が定着しはじめ、落ち着きを取り戻しつつある状況であった。そうした状況下において、本協議会では感染リスクを回避しながら地域福祉活動を展開していくために、リモートでの会議や研修を積極的に実施するとともに、これまで中止・延期することを余儀なくされてきた敬老事業や各種の講座、チャリティーイベント等についても、対策を講じながら地域の状況を踏まえ、可能な限り開催するなど地域福祉活動の推進に取り組んだ。

また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、減収や失業で一時的に生計の維持が困難となった世帯に対し、生活福祉資金貸付事業の特例措置として生活費用を貸し付ける業務は9月末で終了したが、年始から一部の貸付に対して借入者の償還が始まることから、多くの借受人から償還について相談を受け付けた。

東大阪市が取り組む「重層的支援体制整備事業」では、多職種による連携や多機関の協働が事業の重要な基盤となることから、本協議会に3名の専任職員（重層 CSW）を配置し、東大阪市の専任職員と連携して関係者間の情報共有や協議を行い、重層的支援会議（本人同意のケース）、支援会議（本人同意がないケース）の2つの会議体を設置するなど、課題解決のための包括的支援体制の構築に取り組んだ。

老人センターや玉串こども園においても、事業の中止や変更を余儀なくされることもあったが、感染症の予防対策を講じながら行事や事業を実施した。

以下、令和4年度の事業計画に掲げた8つの重点項目について各々結果を報告する。

1. 社協地域担当職員（COW）を中心とした地域福祉ネットワークの推進

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での福祉活動は自粛や延期、または形をかえての開催を余儀なくされてきた。こうした中、概ね各リージョン区に配置された社協地域担当職員（COW）は、地域課題の解決のため、校区福祉委員会を中心とした地域福祉を推進する各種団体の活動に対し支援を行った。

また分野を超えた専門機関が集い、制度の狭間の課題について連携支援を目指す「地域福祉ネットワーク推進会議」では、新型コロナウイルス感染症に配慮した対面式やオンライン形式等、参加しやすい工夫を行い開催した。また会議の中でワールドカフェを行い、改めて顔の見える関係づくりの構築に努めた。さらに東大阪市が取り組む災害時要支援者の個別避難計画作成事業においては専門職への啓発を行った。

2. 老人センター事業及び高齢者地域支え合いセンター事業の推進

指定管理を受託している3カ所の老人センターでは、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、事業内容や規模を見直しながら、利用者の安全を第一に考え、管理・運営してきた。今年度新たに市から受託した高齢者eスポーツ促進事業では、角田総合老人センターで教室を実施し、新規利用者促進にも繋がった。「高齢者地域支え合いセンター事業」のうちワンコイン生活サポート事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度同様、利用会員や援助会員がサービスの利用や提供を控える傾向が見られた。一方、SOSオレンジネットワーク事業や事業所ふくしネットワーク事業では、事業の啓発により協力事業所も増加した。また地域住民へ認知症への理解を促す認知症サポーター養成講座は、人数制限を設けるなど密を避ける工夫をして開催した。

3. 常設型災害ボランティアセンターの機能強化

常設型災害ボランティアセンターでは、災害支援ボランティアとして登録のボランティアに対し勉強会を実施し、コロナ禍における災害ボランティアセンターの設置・運営方法について知識を広めてもらった。また、昨年度に引き続き地域のサロンに出向いて、災害時に身近に体験することができる応急処置の方法や第1次避難所運営を想定したHUG（避難所運営ゲーム）、なますの学校（防災カードゲーム）等を活用し、グループファシリテーターとして支援を行った。その他、被災生活の中で食物アレルギーを持つ人への対応や配慮について学ぶとともに、地域で開催される防災訓練や花園中央公園での防災イベントに参加し、防災・減災への意識を向上してもらうための活動に取り組んだ。

4. 福祉意識の向上とボランティアの育成

市民福祉講座では、ヤングケアラーをテーマに、子どもが家族の介護や介助を担うことで、学業や友人関係などに生じている課題について、講師と当事者から現状や経験談を交えて講演いただき、地域で子どもがひとりで抱え込まない仕組みづくりなどについて考察し、受講者に理解を深めてもらう場を提供した。

5. 個別支援による地域福祉力の向上

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業では、CSW間のさらなる連携を図るため連携会を東・中地域と西地域の2カ所で開催する形式と全体で開催する形式でおこなった。社協地域担当職員（COW）と合同で開催している連絡会や研究会では、引き続き情報共有や事例検討を行うことで連携強化を図り、対象者へは伴走型の支援に取り組んだ。また、COWが開催している「地域福祉ネットワーク推進会議」に積極的に参画し、ネットワークづくりに努めた。

6. 地域包括ケアシステムの構築を見据えた基幹型地域包括支援センターの機能強化

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、地域包括ケアシステムの構築実現に向け、地域福祉活動実践者や医療・介護・福祉などの専門機関と連携を図り、高齢者を支援する仕組みづくりに取り組んだ。また、各地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターは、コロナ禍での地域の高齢者の生活にかかる課題を共有し、必要な支援につなぐための地域内のネットワーク体制づくりに取り組み、コーディネート役（とりまとめ役）となって地域ケア会議「高齢者生活支援等会議」を引き続き開催した。地域包括ケアシステムの中核機関である第1層生活支援コーディネーターは、第2層生活支援コーディネーターとの連携を強化した。また、令和5年度から2カ所の基幹型地域包括支援センターを「角田」に一元化するための準備に取り組んだ。

7. 権利擁護における支援体制の充実

日常生活自立支援事業では、新規契約を32件締結し、利用件数は333件となった。支援計画に基づき、サービス派遣は関係機関と連携を図り、利用者に応じた適切な支援を提供することができた。一方、死亡、施設入所、親族や選任された成年後見人等の管理などにより、サービスを終了するケースが65件あった。終了ケースについては、関係機関と連絡を密に取り、保管物品を引き渡すことができた。成年後見制度への移行については、利用者と丁寧に関わり、関係機関・市と連携を図ることにより、25ケース結びつけることができた。

市民後見推進事業では、市民後見人養成の広報活動を強化し、養成講座（Youtubeでの動画視聴によるオリエンテーション、基礎講習6名、実務講習5名）を経て、新たに5名がバンク登録予定者となった。本年度末のバンク登録者は33名で、新たな受任は無く、被後見人の死亡による終了が1件あり、年度末で5名の市民後見人が活動を行うこととなった。

成年後見制度では、国の第2期基本計画に基づき「東大阪市成年後見制度利用促進協議会」の体制を再編、東大阪市と協働で運営を行った。また成年後見サポートセンターにおいては、適切な制度利用に向けた広報啓発活動や、相談機能の強化、意思決定支援の浸透に向けた取り組みなど、様々な相談に対応できるよう体制整備に取り組んだ。

8. 玉串こども園の地域貢献事業の充実

設立当初から一貫して地域に根ざした児童施設として「地域子育て支援事業」や相談事業、世代間交流事業を実施しており、地域に開かれたこども園として運営してきた。今年度も感染予防対策を講じて各種の地域貢献事業を計画・実施してきたが、高齢者の方々とのふれあい交流事業については感染拡大予防のためやむなく一部中止とした。

I. 法人運営

1. 組織の充実

(1) 三役会・理事会・評議員会の開催

①三役会の開催

開催日	会議名	案件
5/30	三役会	①第1回理事会・第1回評議員会について ②令和4年度 共同募金運動について ③令和4年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ④令和5年度 社協職員採用について
7/25	三役会	①第2回理事会について ②令和4年度 職員採用試験中間報告について ③令和4年度 共同募金運動街頭募金について

開催日	会議名	案 件
11/24	三 役 会	①第3回理事会・第2回評議員会について ②令和4年度 共同募金運動街頭募金実績報告について ③令和4年度 ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいの報告について ④令和4年度 職員採用試験について
3/20	三 役 会	①第4回理事会・第3回評議員会について ②令和5年度 4月1日付け職員採用について ③令和5年度 採用職員の欠員補充について ④第13回 東大阪市ボランティア基金チャリティー事業の報告

②理事会の開催

開催日	会議名	案 件
6/6	第1回理事会	①評議員退任の件 ②理事候補者推薦の件 ③評議員候補者推薦の件 ④常設委員会委員選任の件 ⑤評議員選任・解任委員選任の件 ⑥第13回 東大阪市ボランティア基金チャリティー事業開催の件 ⑦令和3年度 一般会計補正予算（第3回）の件 ⑧令和3年度 一般会計収支決算認定の件 ⑨令和3年度 事業報告の件 ⑩高齢者eスポーツ促進事業受託の件 ⑪令和4年度 一般会計補正予算（第1回）の件 ⑫評議員選任・解任委員会開催の件
8/2	第2回理事会	①会長及び常務理事の職務執行報告の件 ②評議員選任の件 ③評議員退任の件 ⑤令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業実施の件 ⑥令和4年度 第3回理事会並びに第2回評議員会開催の件
12/7	第3回理事会	①評議員退任の件 ②令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業の件 ②令和4年度 一般会計補正予算（第2回）の件 ③令和4年度 第4回理事会並びに第3回評議員会開催の件
3/29	第4回理事会	①会長及び常務理事の職務執行報告の件 ②令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業報告の件 ③評議員選任・解任委員退任の件 ④評議員退任の件 ⑤令和4年度 一般会計補正予算（第3回）の件 ⑥令和5年度 会員募集の件 ⑦令和5年度 受託事業、指定管理事業等契約締結の件 ⑧令和5年度 事業計画及び一般会計予算の件 ⑨令和5年度 役員等賠償責任保険契約締結の件 ⑩令和5年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ⑪第28回 東大阪市社会福祉大会開催の件 ⑫新・地域福祉活動計画策定委員会規程改正の件 ⑬定款一部改正の件 ⑭次期役員選出団体選定の件 ⑮令和5年度 第1回理事会並びに第1回評議員会開催の件

③評議員会の開催

開催日	会議名	案 件
6/28	第1回評議員会	①評議員退任の件 ②評議員選任の件 ③評議員選任・解任委員選任の件 ④常設委員会委員選任の件 ⑤第13回 東大阪市ボランティア基金チャリティー事業開催の件 ⑥高齢者eスポーツ促進事業受託の件 ⑦理事選任の件 ⑧令和3年度 一般会計補正予算（第3回）の件 ⑨令和3年度 一般会計収支決算認定の件 ⑩令和3年度 事業報告の件 ⑪令和4年度 一般会計補正予算（第1回）の件
12/7	第2回評議員会	①評議員退任の件 ②令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業の件 ③令和4年度 第3回評議員会開催の件 ④令和4年度 一般会計補正予算（第2回）の件
3/29	第3回評議員会	①令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業報告の件 ②令和5年度 会員募集の件 ③令和5年度 役員等賠償責任保険契約締結の件 ④令和5年度 第1回評議員会開催の件 ⑤令和5年度 東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催の件 ⑥第28回 東大阪市社会福祉大会開催の件 ⑦新・地域福祉活動計画策定委員会規程改正の件 ⑧評議員選任・解任委員退任の件 ⑨評議員退任の件 ⑩定款一部改正の件 ⑪令和4年度 一般会計補正予算（第3回）の件 ⑫令和5年度 受託事業、指定管理事業等契約締結の件 ⑬令和5年度 事業計画及び一般会計予算の件 ⑭令和5年度 役員報酬総額の件

④監事監査の実施

内 容
新型コロナウイルス感染症感染予防のため、監事による監査の実施については、関係書類等を各監事へお届けし、適正な法人運営、また健全な経営の確保が図れているかを数日にわたり確認いただいた。

⑤評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
6/10	評議員選任の件

(2) 常設委員会の開催

①総務委員会

開催日	案 件
5/23	①令和3年度 一般会計補正予算（第3回）について ②令和3年度 一般会計決算報告について ③令和3年度 事業報告について ④令和4年度 一般会計補正予算（第1回）について
7/25	①令和4年度 組織構成会員及び賛助会員加入状況（中間報告）について ②令和4年度 共同募金運動の実施について ③令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業の実施について

開催日	案 件
11/28	①令和4年度 組織構成会員及び賛助会員加入状況（中間報告）について ②令和4年度 共同募金運動中間報告について ③令和4年度 歳末たすけあい運動の配分について ④令和4年度 一般会計補正予算（第2回）について
3/17	①令和4年度 組織構成会員加入及び賛助会費収入状況について ②令和4年度 共同募金運動実績報告について ③令和4年度 歳末たすけあい運動配分事業実績報告について ④令和4年度 一般会計補正予算（第3回）について ⑤令和5年度 会員募集について ⑥令和5年度 受託事業・指定管理事業等契約締結について ⑦令和5年度 事業計画及び一般会計予算について

②ふくし事業委員会

開催日	案 件
5/17	①令和3年度 事業報告について ②令和3年度 第3回補正予算・決算報告について ③高齢者eスポーツ促進事業につて
3/17	①令和4年度 補正予算について ②令和5年度 受託事業等契約について ③令和5年度 事業計画について ④令和5年度 予算について

③玉串こども園経営委員会

開催日	案 件
5/20	①令和3年度 玉串こども園事業報告(案)について ②令和3年度 玉串こども園補正予算(第2回)(案)及び決算報告(案)について
11/18	①令和4年度 一般会計補正予算(第1回)(案)について
3/13	①令和4年度 一般会計補正予算(第2回)(案)について ②令和5年度 玉串こども園事業計画(案)について ③令和5年度 玉串こども園予算(案)について

④広報事業委員会

開催日	案 件
8/24	①広報紙「東大阪ふくしだより」第116号について ②社協公式SNSについて
3/28	①広報紙「東大阪ふくしだより」第117号について

⑤ボランティア・市民活動委員会

開催日	案 件
5/18	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告） ②ボランティア基金累計額の報告 ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行事業（ねたきり高齢者見舞品贈呈事業）の報告 ⑤善意銀行事業（夏季林間学校・障害者（児）1日レクリエーション）の実施について ⑥令和3年度 事業報告（案）について ⑦令和3年度 補正予算（案）及び決算報告（案）について ⑧ボランティア基金チャリティー事業の開催について

開催日	案 件
7/22	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額の報告 ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行事業（障害者（児）1日レクリエーション・夏季林間学校）の報告 ⑤善意銀行（交歓ソフトボール大会・合同運動会）の払い出しについて ⑥ボランティア基金ダイレクトメールの発送について ⑦ボランティア基金チャリティー事業について
9/16	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額の報告（ボランティア基金ダイレクトメールの中間報告） ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行（交歓ソフトボール大会・夏季林間学校）の中止について ⑤ボランティア基金チャリティー事業について ⑥善意銀行新規事業の実施要項（案）について
11/16	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告及び予定） ②ボランティア基金累計額報告（ボランティア基金ダイレクトメールの中間報告） ③ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ④善意銀行（合同運動会）の報告 ⑤善意銀行事業（交通遺児激励金給付事業・夏季林間学校代替事業）の実施について ⑥ボランティア基金チャリティー事業について
3/15	①ボランティア・NPO関係（養成講座・需給調整業務報告） ②ボランティア基金累計額報告（ボランティア基金ダイレクトメールの中間報告） ③ボランティア基金チャリティー事業の収支報告 ④ファミリー・サポート・センター事業の現況報告 ⑤善意銀行事業（夏季林間学校代替事業）の報告 ⑥令和4年度 第3回補正予算（案）について ⑦令和5年度 事業計画（案）について ⑧令和5年度 予算（案）について

⑥福祉と共生のまちづくり推進委員会

開催日	案 件
	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催延期

⑦福祉防災推進検討委員会

開催日	案 件
11/21	①東大阪市災害時個別避難計画に関する進捗状況について ②社協事業継続計画（BCP）について

2. 事業の推進

(1) 時限措置委員会の開催

①職員採用試験委員会

開催日	案 件
6/22	①委員の紹介及び委員長の選任について ②職員採用試験実施に関する詳細について ③試験科目について ④二次試験の面接員選任について
8/22	①一次試験結果と合否判定について ②二次試験について
9/13	①二次試験実施報告及び最終合否判定について ②今後のスケジュールについて
3/22	※令和5年7月1日に欠員補充を行うため委員会を開催 ①委員の紹介及び委員長の選任について ②職員採用試験実施に関する詳細について ③試験方法について ④二次試験の面接員選任について

②ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい準備委員会

開催日	案 件
6/22	①開催要項について ②予算について ③記念演奏について ④記念品について
8/22	①パンフレットについて ②案内状について ③代表謝辞の選定及び役割分担について ④開催中止のお知らせについて

③東大阪市第6期地域福祉活動計画推進委員会

開催日	案 件
11/30	①委員紹介 ②東大阪市第6期地域福祉活動計画スクラム23の進捗状況について

④社会福祉大会準備委員会

※隔年開催のため、未開催

(2) 事務局体制の充実

①関係職員連絡会議及びプロジェクトチームによる情報交換、事業の検討及び連携

常務・局長・次長会議（随時）、施策調整会議（随時）、所属連絡会議（毎月）、三老人センター連絡会議

②広報事業職員プロジェクトチーム会議

開催日	案 件
7/5	①「東大阪ふくしだより」第116号（10月1日号）発行スケジュール・編集方針確認・内容、紙面構成について ②発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り ③特集記事の検討 ④公式SNSに関する件について
1/18	①「東大阪ふくしだより」第117号（5月1日号）発行スケジュール・編集方針確認・内容、紙面構成について ②発行に伴う原稿の持ち寄り、紙面への割り振り ③特集記事の検討 ④公式SNSに関する件について

(3) 職員研修会の実施

①職員管理職研修

開催日	内 容
5/25～ 5/31	内容：「ハラスメント最新事情-あなたの理解で大丈夫ですか？」 講師：一般社団法人 職場のハラスメント研究所代表理事 金子 雅臣 氏 ※動画配信視聴研修

②社会福祉施設従事者研修会

開催日	内 容
11/24	内容：「ヤングケアラーの概説と経験談、今後のヤングケアラーをめぐる課題について」 講師：立命館大学大学院社会研究科応用社会学専攻 博士前期課程 河西 優 氏

③その他

開催日	内 容
7/5	内容：「情報セキュリティ講座2022」～基本から再確認してみよう～ 講師：公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会近畿事業推進部長 川畑 文雄 氏 ※ハイブリッド形式
11/21	内容：労働安全衛生委員会職員研修 ～安全運転講習～ 講師：布施警察 交通総務係 二宮 氏 ※一部 動画視聴研修
12/27	内容：令和4年度 職員人権研修 ・私が私らしくあるために ・気づこう！職場のセクシュアルハラスメント ※動画視聴研修

(4) 情報の発信

①「東大阪ふくしだより」（福祉情報、善銀ニュース）等の編集発行

「東大阪ふくしだより」を編集発行し、市内の福祉に密着した情報を掲載し、市内に全戸配布した。

○広報紙「東大阪ふくしだより」

NO.	発行日	主 な 内 容
115号	5/1 (全戸配布)	ライオンズクラブ・大阪いずみ生協との協定締結、公式SNSの案内、共同募金お礼、配分申請の受付、令和4年度社会福祉協議会事業計画・予算、ボランティア・市民活動センター講座案内、厚生労働大臣表彰、ファミリー・サポート・センター、わんぱくフェスティバルのお知らせ、いきいきネット相談支援センター、市民後見推進事業、<特集記事>成年後見制度、日常生活自立支援事業の紹介、高齢者地域支え合いセンター事業（各種養成講座案内）、ICTを活用した介護予防事業、ボランティアグループ紹介、民生委員・児童委員活動の紹介、東大阪市社会福祉大会、個別避難計画作成事業、避難行動要支援者名簿、寄付だより（善意銀行・ボランティア基金）、ボランティア保険、シニア地域活動実践塾、高齢者振り込め詐欺被害者防止機器の紹介、交通遺児奨励金
116号	10/1 (全戸配布)	赤い羽根共同募金、共同募金協力型自動販売機、日赤募金のお礼、賛助会員募集とお礼、令和3年度社会福祉協議会決算報告、重層的支援体制整備事業、福祉なんでも相談、成年後見制度、校区福祉委員会の活動、私のまちの民生委員・児童委員、避難行動要支援者名簿<特集記事>高齢者eスポーツ広場開設、地域包括支援センターからのお知らせ、高齢者地域支え合いセンター事業、ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい開催にご案内、ボランティアグループの紹介、ファミリー・サポート・センター会員募集と講座案内、善意銀行事業、チャリティー事業、寄付だより、福祉就職フェア2022、振り込め詐欺被害防止機器

②インターネットホームページ「はーとねっと」による情報の発信

情報公開・情報提供の手段として活用している本協議会のホームページ「はーとねっと」は、各所属・事業毎の行事予定や「知りたい、学びたい、参加したい、相談したい」方への最新情報をタイムリーに発信することで、市民の協力や参加を得ることができる。また、「新型コロナウイルス感染症特別貸付」に関する情報を発信し、より多くの市民への情報発信を図った。

③公式SNS（フェイスブック）による情報の発信と二次元コードの活用

令和4年4月1日より公式SNSを用いた情報発信を行い、地域のさまざまな福祉活動やイベント情報などについて、よりタイムリーな情報発信に取り組んだ。また、広報紙「東大阪ふくしだより」に掲載する情報量の多い記事には、二次元コードを活用し紙面の見やすさとともに、より詳しい情報の提供に取り組んだ。

④パンフレット等の発行及び配布

○令和3年度 東大阪市社会福祉協議会 事業報告書、決算報告書

○令和4年度 東大阪市社会福祉協議会 事業計画・一般会計予算書

(5) 社会福祉士実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は受け入れを中止。

(6) 会議及び研修等への参加

①市町村社協連合会関係

会議及び研修等 名	開催日	場 所
市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	4/14・7/7・2/2	大阪府社会福祉会館
市町村社協連合会事務局長会議	6/2・9/8・11/10・3/15	大阪社会福祉指導センター

②共同募金関係

会議及び研修等 名	開催日	場 所
大阪府共同募金会推進特別委員会	4/21	大阪社会福祉指導センター
大阪府共同募金会理事会	5/27・3/9	大阪社会福祉指導センター
大阪府共同募金会事務長会	8/3	大阪府社会福祉会館

③河南ブロック社協連絡会関係

会議及び研修等 名	開催日	場 所
河南ブロック社協連絡会担当者会議	7/21	柏原市立健康福祉センター
河南ブロック社協連絡会会長・事務局長	8/24	オンライン
河南ブロック社協連絡会会長・事務局長 ・職員合同会議	2/3	柏原市立健康福祉センター
河南ブロック社協連絡会事務局長・担当者会議	3/14	柏原市立健康福祉センター

④担当職員研修 等

会議及び研修等 名	開催日	場 所
市町村社協新任職員研修会	4/19～5/17 (計6日)	オンライン、他
大阪府主任支援専門員更新研修(1回目)	4/11～8/5 (計8日)	大阪介護支援専門員協会 研修センター
大阪府主任支援専門員更新研修(2回目)	4/13～9/2 (計2日)	大阪介護支援専門員協会 研修センター
大阪府介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅱ	4/22～8/22 (計8日)	YMCA会館
生活支援コーディネーター応用研修	5/20	オンライン
地域福祉コーディネータースキルアップ研修	7/1～8/23 (計4日)	オンライン
大阪府介護支援専門員更新研修 専門研修課程Ⅰ	7/19～2/17 (計12日)	大阪介護支援専門員協会 研修センター
地域福祉コーディネーター基礎研修	7/1・14・26・8/9・23	オンライン
在宅医療2022	7/7	オンライン
地域共生社会実現に向けた市町村社協の あり方	7/28	オンライン
福祉専門職による減災	8/2・10/4	オンライン
市町村社協管理職員研修	8/9	オンデマンド
市町村社協中堅職員研修	8/25	大阪社会福祉指導センター
地域包括支援センター職員基礎研修	9/1	オンライン
共生・福祉まちづくり研修	9/7	大阪府社会福祉会館
広報研修	10/25	オンライン
東大阪市ヤングケアラー関係機関職員研修	11/1・11・15・29	オンライン
社会福祉士実習担当者情報交換会	12/13	大阪府社会福祉会館
小地域ネットワーク活動リーダー研修会	2/15～3/31	録画配信

⑤日常生活自立支援事業関係

会議及び研修等 名	開催 日	場 所
専門員及び生活支援員担当者会議	12/9	大阪社会福祉指導センター
社会福祉士実習指導者講習会	10/22・23	大阪府社会福祉会館 オンライン
成年後見制度利用促進基本計画	10/5	オンライン

⑥玉串こども園関係

会議及び研修等 名	開催 日	場 所
令和4年度保育士会総会・記念講演	5/17	ホテルmontレグラスミア 大阪
OJTリーダー養成研修	5/12・13・6/2	オンライン
私立保育士会研修	5/25	市民多目的センター
スーパーバイザー養成基礎研修	5/26	オンライン
日保協研修・幼児期における防災教育	5/25	大阪社会福祉会館
スマイルサポーター	6/2・17・7/11・20・8/8 9/5・16・29	TKP心斎橋駅前 カンファレンスセンター
キャリアパス～中堅職員	6/10・17・24	オンライン
キャリアアップ研修（幼児教育）	6/14・21・28	TKP心斎橋駅前 カンファレンスセンター
私立保育士会研修	6/17	館外研修 （六甲アスレチック）
私立保育士研修	7/2	ボーリングスペースヒット
私立保育士研修	7/4	東大阪商工会議所
夏の芸術学校	7/28・29	天満研修センター
キャリアアップ研修（マネジメント）	7/28	オンライン
キャリアアップ研修（障害児）	7/15・22・29・8/8	オンライン
キャリアアップ研修（幼児教育）	8/22～9/18・9/26	オンライン
キャリアアップ研修（乳児教育）	8/24～9/28	オンライン
キャリアアップ研修（乳児教育）	8/31～9/30	オンライン
キャリアパス～施設長	8/3・8/5	大阪社会福祉会館
スキルアップ研修	9/13	東大阪市役所
キャリアアップ研修（障害児）	9/30～10/31	オンライン
子育て支援員フォローアップ研修	10/5	東大阪総合庁舎
キャリアアップ研修（マネジメント）	10/14～11/11	オンライン
社会福祉施設長研修	10/20	オンライン
私立保育士会研修	10/21	市民多目的センター
キャリアアップ研修（幼児教育）	12/20～1/30	オンライン
OJTリーダー養成研修	1/12・13・30	大阪社会指導センター
私立保育士会研修	1/11	大阪商工会議所
私立保育士会研修	3/10	ホテルmontレグラスミア 大阪

(7) 会員の加入状況

- ①組織構成会員加入状況 101組織体加入
 ②賛助会員加入状況 4,064件 7,693,365円

(8) 共同募金運動実績（東大阪地区募金会）

①戸別募金	17,726,184円
②法人募金	7,933,783円
③職域募金	1,364,126円（バッジ募金を含む）
④学校募金	622,528円（バッジ募金を含む）
⑤街頭募金	388,321円（バッジ募金を含む）
⑥その他の募金	138,508円
⑦歳末たすけあい募金	2,501,915円

※街頭募金は、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施。

(9) 歳末たすけあい運動配分事業

令和4年度歳末たすけあい運動配分金額：2,690,522円

①歳末たすけあい運動配分事業内容・件数

○校区福祉委員会「地域福祉活動」（校区福祉委員会）

年末年始に校区福祉委員会が実施する、要援護者を対象とした支援事業に対して配分金を配分した。

会食会	配食サービス	世代間交流	いきいきサロン	その他の事業	複合事業	合計
0	8	5	9	8	9	39

○子育て支援交流事業（子育て支援グループ）

市内にある子育てグループへの活動を支援する目的で、年末・年始の期間に行う交流事業に対し、申請のあった子育てグループに配分金を配分し、活動支援を行った。（件数12件 内容：12件ともクリスマス会）

○ボランティアグループふれあい交流事業

年末年始にボランティアグループが実施するふれあい交流事業に対し配分金を配布した。

（件数2件 内容：2件ともお楽しみ会）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各配分対象団体毎の申請数が想定より少なく、余剰金が発生したため、団体毎の総配分金額を上回らない範囲で、且つ申請団体の予算額を上限として按分し配分した。

(10) 苦情解決事業の実施

社会福祉法第82条に基づき、社協の事業・福祉サービスに対し苦情等がある場合、適切な解決を図るため「苦情受付担当者」、「苦情解決責任者」、中立的な立場の「第三者委員」を選任し、苦情等を申し出ることのできる窓口を設けている。今年度は、計1件の苦情を受け付け迅速に対応した。

○苦情受付件数及び解決件数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受付件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
解決件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1

○苦情内容及び対応

- 日常生活自立支援センターへ、利用者のご家族からサービス内容について説明を求められたが、対応した職員より適切な回答及び対応がなされなかったことから、不信感を抱かれて苦情に至った。当該職員に対応内容を確認し不適切な対応があったことが確認されたことから、すぐに謝罪を行い今後の対応については別の職員が行うことを説明し、利用者及びご家族の理解を求め解決を図りました。

Ⅱ. ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、校区福祉委員会や福祉団体、ボランティアグループ、NPO・市民活動団体などとの連携・協働の関係の構築を目指して活動した。

1. 福祉組織推進グループ

(1) 連絡調整活動の展開（関係機関・団体との連携）

①福祉団体の支援（福祉団体の事務局としての機能）

- | | | | |
|-------------|-----------------|----------|-----------|
| ○校区福祉委員会連合会 | ○民生委員児童委員協議会連合会 | ○赤十字奉仕団 | ○老人クラブ連合会 |
| ○身体障害者福祉協会 | ○社会福祉施設団体連絡会 | ○福祉施設会 | ○高齢者介護施設会 |
| ○私立保育会 | ○母子寡婦福祉会 | ○人権擁護委員会 | ○遺族会 |
| ○手をつなぐ育成会 | ○保護司会 | ○更生保護女性会 | |

②各団体の自主的事業の支援（社明運動、人権啓発、日赤社資募集等）

③府社協等関係機関との連携協力

④他団体等が行う事業に対する後援

(2) 福祉対策のための基礎調査の実施

訪問相談事業や支援活動に資する要援護者の把握のために毎年実施している4つの調査を今年度も実施した。

- | | | |
|--------------|---|------------------|
| ①敬老事業対象者調査 | → | 敬老事業の実施 |
| ②ひとり暮らし高齢者調査 | → | 福祉票の作成、訪問相談事業の実施 |
| ③高齢者世帯調査 | → | 福祉票の作成、訪問相談事業の実施 |
| ④ねたきり高齢者の調査 | → | 訪問相談事業 |

(3) 福祉事業の充実

①高齢者福祉対策事業の展開

○敬老事業：各校区福祉委員会で実施

○ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯訪問相談事業

本協議会が民生委員児童委員協議会連合会の協力を得て実施している「ひとり暮らし高齢者訪問相談事業」及び「高齢者世帯訪問相談事業」では、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯を訪問して実態を把握し、「福祉票」を作成し、高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者世帯に見舞い品を配布した。

- ・対象・・・配偶者及び親族、その他の人と同居を共にしないでひとり生活をしている、満65歳以上の高齢者
 - ・調査方法・・・民生委員・児童委員協議会連合会の協力により、民生委員が担当地区のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯宅を訪問し、聞き取りにより福祉票に記入する。
 - ・実施時期・・・1月～3月
 - ・ひとり暮らし高齢者（対象者数・・・12,847）
 - ・高齢者世帯（対象世帯数・・・6,669世帯）
- ねたきり高齢者調査事業（善意銀行事業）
- ・ねたきり高齢者（対象世帯数・・・102世帯）

(4) 児童福祉対策事業の推進

①ひとり親家庭ふれあいツアーの開催

と き：令和4年11月6日（日） ところ：北野工房のまち・神戸どうぶつ王国

（当初は7月30日を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により延期）

参加者：市内在住のひとり親家庭 計19名（大人8名＋子ども11名）

②園児と施設の交流

地域の高齢者施設の高齢者と玉串こども園の園児との世代間交流やふれあい交流事業については、感染拡大予防のため中止とした。

(5) 低所得家庭対策事業の推進

①令和4年度 生活福祉資金貸付報告

(単位：円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	6	5	5	4	6	6	3
金額	2,868,000	1,134,000	1,424,000	671,000	982,000	2,018,000	188,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	4	8	8	3	16	74	
金額	1,461,000	4,277,000	3,190,000	2,486,000	6,297,000	26,996,000	

②令和4年度 総合支援資金貸付報告

(単位：円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	0	0	0	0	0	0	0
金額	0	0	0	0	0	0	0
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	1	0	0	1	2	4	
金額	450,000	0	0	450,000	765,000	1,665,000	

③令和4年度 緊急小口資金貸付報告

(単位：円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	2	1	6	5	4	2	1
金額	121,000	65,000	536,000	460,000	262,000	107,000	100,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	10	7	4	7	5	54	
金額	728,000	680,000	296,000	647,000	390,000	4,392,000	

④令和4年度 緊急小口資金貸付報告 (新型コロナウイルス感染症特例)

(単位：円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	85	83	77	60	70	97	39
金額	16,750,000	15,950,000	15,400,000	11,540,000	13,800,000	19,050,000	7,800,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	0	0	0	0	0	511	
金額	0	0	0	0	0	100,290,000	

⑤令和4年度 総合支援資金貸付報告 (新型コロナウイルス感染症特例)

(単位：円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	96	75	81	65	62	61	129
金額	50,650,000	39,600,000	42,600,000	33,450,000	31,750,000	32,700,000	69,550,000
月別	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
件数	0	0	0	0	0	569	
金額	0	0	0	0	0	300,300,000	

(いずれも貸付の決定は、大阪府社会福祉協議会)

(6) 受託事業の推進

①東大阪市福祉バス「ことびき号」運行事業の実施

令和4年度 自動車運行業務報告

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数	1	1	2	1	0	2	3	6	1	3	2	1	23
走行距離 (km)	60	290	100	80	0	160	270	570	60	300	160	130	2,180
利用者数	22	22	41	20	0	51	69	100	19	64	51	30	489

(7) 校区福祉委員会活動の推進

①校区福祉委員会連合会・会議等の開催

於：東大阪市社会福祉協議会 他

開催日	事業名	内 容
4/26	役員会 全体会議	全体会議議案の事前打合せ ①校区福祉委員会連合会事業報告・計画について ②避難行動要支援者名簿の更新について ③重層的支援体制整備事業について ④組織構成会員について ⑤敬老事業について ⑥ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ⑦小地域ネットワーク活動について
6/7	★助成金交付	★校区福祉委員会種助成金交付 ★小地域ネットワーク種助成金交付
6/7	役員会 全体会議	全体会議議案の事前打合せ ①社協賛助会員について ②敬老事業について ③ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ④令和4年度小地域ネットワーク活動費について ⑤ボランティア基金チャリティー事業について ⑥小地域ネットワーク活動について
8月	書面での ご依頼 (委員長会議)	①歳末たすけあい運動酒配分事業について ②敬老事業について ③ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいについて ④小地域ネットワーク活動について
8/25	★助成金交付	★敬老事業助成金交付
9月	敬老事業実施	<敬老月間（各校区にて敬老事業を実施：年度末まで）>
9/22	★助成金交付	★地域福祉活動助成金交付（賛助会費）
11/21	役員会 全体会議	①災害時の個別避難計画作成事業について ②ボランティア基金チャリティー事業について ③歳末たすけあい運動酒配分事業について ④小地域ネットワーク活動推進事業について (令和5年度小地域ネットワーク介護予防事業実施予定表、令和4年度小地域ネットワーク活動推進事業補助金)
11/25	★助成金交付	★小地域ネットワーク種助成金交付
2/6	全体会議 及び 交流会	①交通遺児激励金の給付について ②校区福祉委員会役員改選について ③校区福祉委員長及び女性代表委員の就任状況報告書について ④令和5年度校区福祉委員会活動助成金申請書について ⑤小地域ネットワーク活動推進事業補助金について ⑥小地域ネットワーク活動介護予防事業について
3/17	★助成金交付	★地域福祉活動助成金交付（賛助会費）
3/24	★助成金交付	★小地域ネットワーク活動助成金交付（メニュー事業分）

②敬老大会実施校区（45校区福祉委員会）

- 敬老大会実施校区 …… 8校区
- 敬老会実施と記念品配布 …… 4校区
- 記念品配布 …… 33校区福祉委員会

2. ボランティア市民活動推進グループ

(1) コーディネート事業の推進

① 需給調整事業

○ 受付内容別件数

活動希望	ニーズ依頼	相談	問い合わせ	その他	合計
15(1.6%)	191(20.8%)	40(4.4%)	671(73.2%)	0(0%)	917(100%)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っている中での活動となった。受付内容別件数は、917件となった。ボランティア・市民活動センターで、この一年間に受付けたケースは月平均79件であった。内容別では「活動希望」の15人全員がボランティア登録をされた。「相談」では、ボランティア活動を行う上での相談や施設からの相談などが寄せられた。また、小・中学校・高校から福祉教育として、視覚障害者の手引き、手話や点字、車いす体験の指導依頼があった。「問い合わせ」671件の内容は、会場、資材機材の提供や情報・資料提供などであった。

② 対象者の状況別ニーズ内容

ニーズ内容	対象者の状況							合計
	施設	行政	団体	学生	障害者	高齢者	その他	
a.保育・遊び相手	0	8	49	0	0	0	0	57
b.見守り・話し相手	0	1	1	0	0	0	0	2
c.学習指導・福祉教育	0	25	1	0	0	0	0	26
d.通学通園介助	0	0	0	0	0	0	0	0
e.障害者等外出介助	0	0	0	0	0	0	1	1
f.入院・通院介助	0	0	0	0	0	0	0	0
g.手話通訳	0	2	0	0	0	0	0	2
h.点訳	0	1	4	0	2	0	0	7
i.朗読	0	0	0	0	0	0	0	0
j.要約筆記	0	0	0	0	1	0	0	1
k.清掃・洗濯・買い物等家事	0	0	0	0	0	0	0	0
l.食事・入浴等介助・介護	0	0	0	0	0	0	0	0
m.行事援助	0	3	6	0	1	0	0	10
n.演芸訪問	26	6	46	0	1	0	0	79
o.理容・美容	0	0	0	0	0	0	0	0
p.技術技能提供	1	0	0	0	0	0	0	1
q.その他	1	0	0	0	1	2	1	5
合計	28	46	107	0	6	2	2	191

ボランティアを希望される対象者の状況別ニーズ内容の総件数は191件であった。対象者の状況は「団体」「行政」「施設」の順で、内容は施設や団体から演芸訪問、団体から保育・遊び相手の依頼が寄せられた。

③ 受付内容別対処方法

対処内容	活動希望	ニーズ依頼	相談	問い合わせ	その他	合計
a.Vバンク登録	15	0	0	0	0	15
b.グループ紹介	0	0	6	18	0	24
c.活動紹介	0	0	0	0	0	0
d.保留(再考)	0	0	0	0	0	0
e.情報・資料提供	0	0	2	1	0	3
f.相談援助	0	0	1	0	0	1
g.講座の案内	0	0	2	0	0	2
h.Vバンク調整	0	167	0	0	0	167
i.他機関等紹介	0	0	1	0	0	1

対 処 内 容	活動希望	ニーズ依頼	相 談	問い合わせ	そ の 他	合 計
j.制度施策紹介	0	0	0	0	0	0
k.連絡・報告受理	0	3	0	0	0	3
l.調整中	0	0	0	0	0	0
m.調整できず	0	20	0	0	0	20
n.取り下げ	0	1	0	0	0	1
o.会場の提供	0	0	0	629	0	629
p.資材機材提供	0	0	26	3	0	29
q.その他	0	0	2	20	0	22
合 計	15	191	40	671	0	917

受付内容別対処方法では、施設・団体等への「演芸訪問」「見守り・話し相手」「行事援助」等のボランティア調整、ボランティアグループなどへ「会場提供」、またボランティア活動希望者へ活動紹介・グループ紹介・ボランティア登録、個別依頼により調整を行った。

④ボランティアグループ（104グループ）及び個人登録ボランティア（64人）の活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	朗 読	演芸訪問	技術技能提供	清 掃	その他	計
件 数	33	328	352	264	818	218	924	2,937
延べ活動人数	1,468	1,92	1,355	1,430	2,579	1,555	3,448	12,792

(2) ボランティア・市民活動の推進

①市民福祉講座の開催 ○テーマ：「ヤングケアラー」

開催日	会 場	内 容	受講人数
3/2	社会福祉協議会	「子どもが子どもでいられる地域に」 ～現状と当事者からのメッセージ～ 講師：①大阪歯科大学 医療保健学部 教授 濱島 淑恵 氏 ②NPO法人 ふうせんの会	47

②ボランティア養成事業 ○ボランティア養成講座、研修会等の開講：9講座・9コース (年間受講人数 146人、延べ参加人数 516人)

講 座 名	開 催 期 間	会 場	受講人数 (延べ人数)
①オンラインdelはじめての手話教室	1/12・19・26	オンライン	6(18)
②施設ボランティアコーディネーター研修会	7/28	ハイブリッド	施設職員6 ボランティア13
③ボランティア体験プログラム (福祉施設等でのボランティア体験活動)	7/1～9/30	市内福祉施設	3(8)
④ボランティアスキルアップ研修会	1/17	大阪商業大学	16
⑤車いすボランティア養成講座	9/14・21・28	社会福祉協議会	12(25)
⑥傾聴ボランティア養成講座	11/10～12/1 毎週木曜日全4日	ハイブリッド	22(79)
⑦点訳ボランティア入門講座	10/14～12/16 毎週金曜日全10日	市民多目的センター	21(148)
⑧はじめてボランティア養成講座	8/3・10・17・24・31	社会福祉協議会	21(43)
⑨朗読ボランティア養成講座	7/5～8/30 毎週火曜日全8回	社会福祉協議会	26(160)

③基盤整備事業

○活動拠点としての会場、機材等の貸出

- ・会議室等の提供629回（内訳：ボランティアグループ593回、講座関係36回）
- ・機材の貸出148回（内訳：車いす73回（介助用61回、学習用12回）点字器3回、白杖10回、アイマスク2回、高齢者疑似体験セット18回、プロジェクター・DVD再生機を含むその他42回）

④東大阪市ボランティア基金の拡充【ダイレクトメールによる協力の呼びかけ】

○令和4年度 ボランティア基金実績額

寄付件数	寄 付 額	累 計 額
32件	¥1,842,999-	¥174,138,525-

⑤善意銀行事業の展開 ○令和4年度 善意銀行寄付及び払出報告

<寄付の部>

口座種別	件 数	内 容
金銭口座	69	¥2,381,215-
物品口座	40	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、お菓子、日用品、お米券、ヤクルト他
合 計	109	

<払出の部>

口座種別	件 数	内 容
金銭口座	10	¥405,505-
物品口座	40	文具用品、節分用豆、クリスマスケーキ、お菓子、日用品、お米券、ヤクルト他
合 計	45	

○交通遺児激励金の給付 ○身体障害者（児）1日レクリエーションの開催

○施設児童 夏季林間学校の開催（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

○ねたきり高齢者への見舞品（敷きシート）配付 ○施設児童 夏季林間学校代替事業の開催（日帰り）

⑥ボランティア連絡会会議・事業等の開催

○ボランティア連絡会会議の開催

- ・総 会（事業報告・決算報告、事業計画・予算）・・・書面決議
- ・役員会（毎月第2火曜日）計12回
- ・幹事会（毎月第3金曜日）計12回

○ボランティア連絡会との共催事業

- ・東大阪ボランティア研究集会

⑦広報啓発活動

○収集ボランティア運動の展開

⑧相談援助・機材貸出

○グループ活動への相談援助等

- ・ボランティアコーディネーターの定例会出席他

○「福祉ボランティア体験学習」活動の相談援助、講師派遣

○学校関係へのボランティア活動相談援助

- ・大阪商業大学のゼミナールとの協働事業

㊦児童の学習支援事業

㊧縄手・上四条校区「サマースクール」枚岡西「寺子屋」の企画・運営補助

㊨ファミリー・サポート・センター交流会の企画

- ・市内の小・中学校・高校40校に車いす・点字・アイマスクの体験学習指導者等（ボランティア・当事者）を紹介

○小地域ネットワーク活動事業へのボランティア参加協力（6校区延べ14回）

- ・参加校区：石切、成和、英田北、若江、意岐部、長瀬北

⑨調査研究・開発

○連絡会議・研修会の参加

- ・市町村ボランティア連絡会総会・・・・・・・・・・・・・・・・書面決議

- ・市町村ボランティア連絡会河南ブロック交流会・・・・・・11月24日
- ・市町村ボランティア連絡会研修交流会・・・・・・2月3日

⑩ひとり暮らし高齢者等へのふれあい福祉電話サービス

ボランティアグループ「笑顔の会」の協力により、福祉電話を設置しているひとり暮らし高齢者を中心に五条老人センター、高井田老人センター、角田総合老人センターに設置されたシルバーボランティアセンターから安否確認と話し相手、相談援助として「ふれあい福祉電話サービス」を実施している。

⑪NPO市民活動の推進

- 令和4年度利用登録団体件数 3団体
- 助成金情報等のメール配信

(3) 災害ボランティアセンター事業の推進

①災害義援金の受付及び災害義援金募金箱の設置

- 令和4年8月3日からの大震災災害義援金

②地域版避難所運営マニュアル策定のための防災訓練に参加

- 12月4日 花園北校区自主防災訓練

③災害ボランティアセンターの啓発活動

- 9月27日 石切東校区いきいきサロン
 - ・みんなで学ぼう応急処置
 - ・避難所生活時の体調不良時にきく身近な食糧等
 - ・災害時のエコノミークラス症候群を防ぐ
- 1月12日 高井田東校区福祉委員会いきいきサロン
 - ・なますの学校（防災カードゲーム）

④災害登録ボランティア勉強会

開催日	テ ー マ ・ 内 容
4/5	振り返りと、令和4年度の活動を検討
5/10	今後の活動の検討
6/7	『なますの学校』よみあわせ・ペットと一緒に防災（マイクロチップの登録義務化）
7/5	応急処置を違った目線で（健康維持のための身近な常備薬） エコノミークラス症候群を防ぐ対策
8/2	障害と災害：要配慮者とは
9/6	障害と災害：合理的配慮について
10/4	障害と災害：合理的配慮について（命の危険はどう向き合うか）
11/1	自宅の防災対策は？
12/6	地域と一緒に炊き出し：アレルギーを持つ人への対応と配慮
1/10	・被災時の情報源を知る・災害時に便利なアプリをダウンロードする・罹災証明について知る ・行政支援の限界を知っておく
2/7	災害ボランティア設置・運営マニュアルの勉強会

⑤『災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル（改訂版）』の作成

⑥令和4年度災害ボランティア養成講座

開催日	場 所	講 師	参加人数
3/11	社会福祉協議会	認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事 寺本 弘伸 氏	14名

(4) ファミリー・サポート・センター事業の推進

令和4年度は、ファミリー・サポート・センターでは、育児を支援したい人を養成する援助会員養成講座を3回開催した。また、子育て講座では、オンラインと対面でも参加ができるハイブリッドとして講座の開催に努めた。さらに、クリスマス交流会では、大阪商業大学穴戸ゼミの大学生の企画立案や協力により、依頼会員と援助会員同士の信頼関係をより深められることに繋がった。

①会員養成講座の開催

開催日	場 所	講 師	参加人数
6/3・10・17・24	市民多目的センター	千葉 郁子 氏、藤田 雅子 氏 東大阪市消防局 警防部警備課 職員 日本赤十字社大阪府支部 指導員	11
10/5・12・19・26	角田総合老人センター	千葉 郁子 氏、藤田 雅子 氏 東大阪市消防局 警防部警備課 職員 日本赤十字社大阪府支部 指導員	9
1/27・2/3・10・17	社会福祉協議会	千葉 郁子 氏、藤田 雅子 氏 東大阪市消防局 警防部警備課 職員 日本赤十字社大阪府支部 指導員 ※地域子育て支援拠点と連携して事業を行った。	17

②会員登録状況（令和5年3月31日現在）

依頼会員	援助会員	両方会員	合 計
281	105	12	398

③交流会

○「手作りおもちゃの会」・・・参加人数14名

開催日	場 所	講 師
6/11	社会福祉協議会	ボランティアグループ 手作り玩具「かざ車の会」

○「音の出るおもちゃ作り&色んな音マネを楽しもう会」・・・参加人数14名

開催日	場 所	講 師
9/10	社会福祉協議会	ボランティアグループ ペリカンたまご

④子育て講座

○「足育（あしいく）」・・・参加人数 会場23名・オンライン6名

開催日	場 所	講 師
11/12	社会福祉協議会	日本足育プロジェクト協会足育アドバイザー

○「クリスマス交流会」・・・参加人数43名

開催日	場 所	講 師
12/10	社会福祉協議会	ココ絵本の会・大阪商業大学 穴戸ゼミ学生

○「安全なりビングを作るための片付け～3つのコツ～」・・・参加人数10名

開催日	場 所	講 師
1/14	社会福祉協議会	自然派ハウスクリーニングHappyLife 片付け収納マイスター

○「ハーバリウム作り」・・・参加人数9名

開催日	場 所	講 師
2/22	社会福祉協議会	日本ハーバリウム協会

⑤援助活動状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

活 動 内 容	回 数
保育所・幼稚園の送り	230
保育所・幼稚園の迎え	259
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	129
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	216
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	2

活 動 内 容	回 数
学校への送り	32
学校への迎え	2
学校前の預かりから送り	0
学校への迎えから預かり	31
留守家庭児童育成クラブへの送り	0
留守家庭児童育成クラブの開始までの預かり及び送り	0
留守家庭児童育成クラブへのお迎えと自宅（祖父母宅）への送り	0
留守家庭児童育成クラブのお迎え及び帰宅後の預かり	7
留守家庭児童育成クラブからの帰宅後の預かり	0
警報発令時の緊急の援助	0
子どもの病後時の援助	0
子どもの習い事等の援助	303
保育所・学校等休み時の援助	31
出産に伴う子どもの預かり	0
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	104
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	2
保護者等の買物等外出の場合の援助	34
保護者等の病気、急用等の場合の援助	0
保護者の講習会などへの参加時の援助	0
保護者の保育負担軽減のための援助	12
新生児対応の訪問保育援助（保育補助）	45
新生児対応の訪問保育援助（同伴外出）	2
合 計	1,441

⑥依頼児童（乳幼児含む）年齢別集計

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	合 計
件数	98	242	21	287	206	162	127	129	56	53	60	0	1,441

Ⅲ. 角田総合老人センター

角田総合老人センターは、角田・五条・高井田の3カ所の老人センターの指定管理者として管理運営を受託し、その施設を活動拠点として高齢者地域支え合いセンター事業、シニア地域活動実践塾（悠友塾）の開催など、高齢者福祉の基幹施設として各種事業を展開してきた。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部事業の実施を制限せざるを得なかったが、行政と対処方法を確認しつつ徐々に休止していた事業を再開していくことで利用者数を増加させることができた。

また、ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどいは新型コロナウイルス感染症拡大防止に充分留意しながら対象のご夫婦を招待しお祝いをした。

要援護者への相談援助等を展開しているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業については、複合的な課題やセルフネグレクト・生活困窮等の課題について、今年度より取り組みの始まった「重層的支援体制整備事業」と連携し、高齢・障害・子ども・生活困窮といった分野別の支援体制では対応できないような地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、分野を超えた専門機関との連携や地域の方々の協力を仰ぎ課題解決に取り組んだ。生活困窮においては生活困窮者自立支援制度や社会貢献支援制度との連携強化を図った。また、関係機関が実施する研修会や事例検討会に積極的に参画し、分野横断的なネットワークの構築に努めた。さらに、社協地域担当職員（COW）は、校区福祉委員会をはじめとする地域福祉を担う各種団体を支援し、地域福祉課題の発見や解決への取り組みなど、地域福祉推進のための連携等について話し合う「地域福祉ネットワーク推進会議」を3地域（東・中・西）でオンラインやハイブリッド形式で開催し、コロナ禍においても高齢・障害・児童の各分野における行政、専門機関との顔の見える関係づくりに取り組んだ。

1. 角田老人センター

今年度に当センターを利用した高齢者の延べ人数は16,986人、利用者数の月平均は1,415人、1日平均では58人であった。今年度も新型コロナウイルス感染症に充分注意しながら事業の再開を行った。延べ利用者数もついでに昨年度より増加した状況であった。この1年間に新規の利用券を発行した人数は117人で、今年度の利用実人数（年度内に1回でも利用された方の人数）は男性304人、女性581人、合計885人であった。

・年間利用者数（開館日数：293日） (単位：人)

	男	女	計
年 間	7,887	9,099	16,986
一日平均	27	31	58

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

①情報の提供

市民や利用者にはセンター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だよりや東大阪ふくしだより、ホームページ等を活用するとともに、月間予定表「角田総合老人センター」を発行した。また、関係機関等へのチラシやポスター等の配布や掲示等により、情報の提供を行った。

②場所の提供

部屋の貸し出しをしている団体数は11団体で、主にクラブ活動の同好会やシニア地域活動実践塾の卒業生で構成されているボランティアグループの他、近隣の校区福祉委員会、地域包括支援センター連絡調整会議等へ活動の場を提供し、延べ5,489人が利用した。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

①生涯教育事業

○定期開催事業（週・月単位で開催）

教 養 講 座			
事業名	開催数	内 容	延べ参加人数
囲碁教室	41	初心者を対象とした囲碁教室	589
初心者将棋教室	37	初心者を対象にした将棋教室	266
健 康 づ くり 推 進 事 業			
事業名	開催数	内 容	延べ参加人数
笑ってこよう！楽しくトライ体操	11	楽しくトライ体操推進員による健康体操	410
みんなの体操ひろば	11	悠友塾OBによる体操教室	206
ニコニコ体操	9	ヨガなどを取り入れた健康体操	182
初心者卓球教室	19	初心者を対象とした卓球教室	127

○映画鑑賞会（午前・午後に分けて開催 参加人数は合計）

開催日	上 映 作 品	参加人数
4/28	わが母の記	50
5/31	恋は雨上がりのように	58
6/27	男はつらいよ ～寅次郎恋やつれ～	44
7/29	箱入り息子の恋	47
8/30	釣りバカ日誌 ～瀬戸の約束～	40
9/30	UDON うどん	51
10/31	海よりもまだ深く	58
11/30	いのちの停車場	61
12/19	長いお別れ	54
1/30	綾小路きみまろ爆笑第3集	71

開催日	上映作品	参加人数
2/27	アイネクライネナハトムジーク	63
3/29	そしてバトンを渡された	66

○その他の教室、講座、交流事業

開催日	事業名	内容	参加人数
4/8	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	20
4/19	和楽コンサート	大正琴・ギター・日本舞踊など	30
4/20	ユッキーズダンス	音楽に合わせダンスを取り入れた体操	18
4/27	若返り♪健康ツボ講座	自宅でできるツボ健康法を学ぶ	40
5/6	だん・DAN!ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	24
6/10	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	23
7/1	だん・DAN!ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	25
7/5	男性のためのバランス健康体操	男性を対象とした姿勢改善体操	12
7/22	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	14
8/12	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	21
8/23	男性のためのバランス健康体操	男性を対象とした姿勢改善体操	15
8/26	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	9
9/2	だん・DAN!ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	25
9/6・20	男性のためのバランス健康体操	男性を対象にした姿勢改善体操	22
9/9	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	9
9/14	青春のつどい	フラダンス・マジックバレーン	24
9/15	シニアボクシング	ボクシングを取り入れた健康体操	21
10/14	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	18
10/28	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	15
11/2	陶芸体験教室	陶芸を通じの交流と親睦	6
11/4	だん・DAN!ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	23
11/11	囲碁交流会	囲碁を通じの交流と親睦	24
11/15	スマホ体験教室	初めてスマホを使う	19
11/17	脳トレピアノ®	ピアノによる脳トレ	15
11/21・28	手作り作品教室	「絵馬」づくり	20
11/25	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	15
11/29	男性のためのバランス健康体操	男性を対象とした姿勢改善体操	9
11/30	将棋交流会	将棋を通じの交流と親睦	19
12/5	スマホ体験教室	初めてスマホを使う	8
12/9	リフレッシュヨガ	マットを使っのヨガ体験	20
12/17	クリスマスコンサート	邦パフォーマン・アルバム演奏	57
12/21	ユッキーズダンス	音楽に合わせダンスを取り入れた体操	15
12/23	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	15
1/6	だん・DAN!ダンス教室	音楽に合わせて脳トレ・筋トレ	22
1/11	スマホ体験教室	初めてスマホを使う	6
1/17・24	スマホ講座応用編①②	便利なアプリを使う	26
1/17・31	男性のためのバランス健康体操	男性を対象とした姿勢改善体操	14
1/17・31	ストレッチ健康体操	筋を伸ばす健康体操	54
1/27	姿勢改善教室	日常道具を使っの姿勢改善教室	11
1/28	新春ライブ	ジャグリング・吹奏楽演奏	57
2/1	健康ツボ講座	自宅でできるツボ健康法を学ぶ	37
2/8	シニアボクシング	ボクシングを取り入れた健康体操	23
2/21	ストレッチ健康体操	筋を伸ばす健康体操	28
2/21	男性のためのバランス健康体操	男性を対象とした姿勢改善体操	7
3/10・11	角田総合老人センター弥生祭り 「クラブ活動発表会」	クラブ活動発表会を中心に世代間交流、 介護予防体操の実施等	443
3/23	おもしろ仏像講座	仏像についてのお話	21

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人との交流に重点をおいた生きがい教室を実施し、利用者のニーズにあったクラブ運営を行った。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため飛沫感染の恐れのあるクラブは休止した。また、開催したクラブについても2班に分けるなど人数制限を行って実施した。（クラブ活動状況）

	クラブ名	講師名	会員数	実施日			実施回数	出席人数 (延べ)	
				週	曜	時間			
講師 付 き ク ラ ブ	茶 道	竹田 宗恵 射場 宗栄	13	第2・4	水	13:30-15:30	16	172	
	華 道	清水 睦甫	11	第1・3	月	13:30-15:30	17	182	
	詩 吟	森 雅声	0	第1・3	火	13:30-15:30	0	0	
	陶 芸	山田 ウタ子	(1部) 6	第1・3	木	10:00-12:00	18	96	
			(2部) 6			13:30-15:30	20	97	
	編物手芸	山野 弘子	28	第2・4	水	13:30-15:30	18	377	
	社交ダンス	角谷 留吉	(男性) 7	第1・3	木	13:30-15:30	18	181	
			(女性) 11			13:30-15:30			
	書 道	石田 雅泉	(1部) 25	第2・4	火	10:00-12:00	21	384	
			(2部) 22			13:30-15:30	21	335	
	民 謡	井上 美由紀	20	第1・3	金	13:30-15:30	20	355	
	新 舞 踊	園 多恵	11	第1・3	金	13:30-15:30	20	159	
	フラダンス	庄司 明子	(1部) 9	第2 第4	金	14:00-15:00	11	78	
(2部) 10			11				93		
コーラス	西村 善子	0	第2・4	月	13:30-15:30	0	0		
美 術	川口 誠次	15	第1・3	水	13:30-15:30	20	219		
楽楽体操	櫻本 雄平	(1部) 31	第2 第4	火	13:30-14:30	10	225		
		(2部) 27				10	240		
クラブ名		講師名	会員数	実施日			実施回数	出席人数 (延べ)	
				週	曜	時間			
自由 ク ラ ブ	カラオケ	なし	(1部) 7	第1・3	月	13:00-16:00	20	139	
			(2部) 7		水	13:00-16:00	22	140	
			(3部) 9		木	13:00-16:00	20	165	
	謡 曲		3	第2・4	火	10:00-12:00	24	76	
	テンコク		8	第2・4	水	13:30-15:30	18	122	
	卓 球		(1部) 9	第2・4	木	月	13:30-14:30	20	293
			(1部) 9				14:30-15:30	19	
			(2部) 9				13:30-14:30	19	
			(2部) 9				14:30-15:30	18	
			(3部) 9				10:00-11:00	18	
(3部) 7	土	11:00-12:00	19	282					
計			477				203	1, 139	

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したクラブは、実施回数・出席人数を0と示す。

○卓球・カラオケ・ダンスによる開放事業

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

(4) 健康生活維持並びに向上のためのサービス事業

いきいき健康相談：毎月1回 第3水曜日 延べ16名

車いす貸し出し事業：26回

(5) 老人センター交流事業

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、三老人センター交流事業・六老人センター交流会・三老人センター合同交歓吟詠大会を中止した。

(6) 実習生・職場体験の受け入れ

玉川中学校（職場体験学習）：11月17日、1日間、2名を受け入れた。
神戸学院大学（インターンシップ）：3月16日、1日間、1名を受け入れた。
小阪病院看護専門学校生：1月23日～3月9日までの24日間、学生14名を受け入れた。
四天王寺大学（インターンシップ）：3月22日、半日間、1名を受け入れた。

(7) 取材・視察について

今年度は依頼がなかった。

(8) 苦情・要望等の件数及びその内容

・利用者からの要望等はなく、適切な事業運営を行った。

②高齢者地域支え合いセンター事業

高齢者地域支え合いセンター事業は、元気な高齢者が地域でまちづくりやボランティア活動などを通していきいきと活動するとともに、市民に対して認知症への理解や周知を行いながら、要介護状態や認知症になった場合は地域で助け合い、支え合う地域社会を推進していくため展開している。また、角田総合老人センターが総合的なコーディネート業務をはじめ、事業の取りまとめ等を行い、五条・高井田老人センターの2カ所にランチ機能を持たせ、高齢者などがより身近な所で事業を推進するための地域拠点として役割を担っている。

今年度も、行方不明になった認知症の人を早期に発見する取り組み「SOSオレンジネットワーク事業」と、在宅で異変があったときの安否確認や緊急対応する仕組み「事業所ふくしネットワーク事業」を充実するため、協力事業所の拡充に努め、地域との連携を図り推進することができた。

(1) ワンコイン生活サポート事業

「ワンコイン生活サポート事業」は、日常生活のなかで困りごとを抱えた住民の方が、地域で安心した生活が送れるように、ちょっとした家事援助をワンコインで提供する、地域で支え合う仕組みとして利用会員と援助会員で構成するサポート事業を実施している。

今年度もワンコイン生活サポーター養成講座を4回開催し、修了生のうち16名が援助会員として登録があり、実数は545名となった。また、サービスを希望する利用会員の登録は973名となり、月平均41件のサービスを実施した。認知症に関する情報も提供していくなど事業の広報を行い、地域で安心した生活が送れるよう推進した。

<ワンコイン生活サポート事業状況>

会員状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規援助会員数	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	4	0	16
退会数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	27
援助会員数	554	554	558	558	558	562	562	562	566	566	570	545	545
新規利用会員数	3	5	10	6	4	10	3	3	6	3	3	6	62
退会数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	101
利用会員数	1015	1,020	1,030	1,036	1,040	1,050	1,053	1,056	1,062	1,065	1,068	973	973

援助内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.食事の支度・片付	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22
2.衣類の洗濯・洗い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.買い物	3	5	5	5	6	6	7	5	3	3	4	5	57
4.住居等清掃・整理	21	19	24	27	19	19	18	22	25	20	21	19	254
5.庭の清掃・草取等	5	10	9	6	3	7	11	8	7	3	3	4	76
6.ゴミ出し	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	13
7.電球交換	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
8.見守り・話し相手	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
9.外出の付添	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	6
10.病完退院時のお世話	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	5
11.入院中のお世話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12.産前産後のお世話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

援助内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13.換気扇など部分清掃	0	4	1	0	1	2	4	4	3	1	0	1	21
14.診察券出し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15.家庭の些細な修理	0	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	6
16.葉とり等	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	6
17.保育園の送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18.その他	1	1	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	7
月別利用件数合計	34	47	48	46	37	42	47	43	44	33	34	35	490
月別利用回数合計	72	92	106	101	90	96	100	90	96	68	77	79	1,067

○ワンコイン生活サポーター養成講座

- ① 6月24日 東体育館 参加者 4名
- ② 9月27日 市民多目的センター 参加者 3名
- ③ 12月20日 角田総合老人センター 参加者 4名
- ④ 2月10日 東体育館 参加者 6名

○ワンコイン生活サポーター研修会

- 3月 1日 角田総合老人センター 参加者35名

(2) 介護予防活動ボランティアの組織化及び活動支援

老人センターや老人クラブ連合会、地域包括支援センターなどの機関・団体と連携し、介護予防ボランティアの育成や活動の支援、活動の機会を提供してきた。また、介護予防活動を広め交流する場を持つためパンフレットを作成し、情報のネットワークが広がるように事業展開した。

(主な活動)

○介護予防ボランティアグループ紹介パンフレットを作成し、配布した。

○1月13日(金) 希来里イコーラムホールで「けんこう運動見本市」を開催した。会場参加と他2会場をオンラインでつなぐハイブリッド形式で実施した。介護ユースチューバー石田竜生氏に「楽しく笑って介護予防・認知症予防講座」を披露いただき、その後介護予防ボランティアグループの紹介や体験を行い、91人の方が参加された。

(3) 認知症等高齢者支援事業

東大阪市オリジナルのハンドブックを活用し、認知症サポーター養成講座終了後に、サポーターとして地域で活躍していただける方にサポーター宅の玄関に貼るステッカーを配布した。また、認知症サポーター養成講座の受講者のいる企業、商店等に、ボランティアの作成による「ロバ隊長(認知症サポーターのマスコット)」のぬいぐるみを設置して認知症の方に相談窓口となっていただくとともに、作成した啓発チラシを活用し地域で認知症になっても安心して生活ができるよう啓発した。

認知症サポーター養成講座は、今年度より人型ロボット pepper(ペッパー)くんを使った養成講座を、主に小学校等で開催し実施回数・受講者ともに増加しつつある。また、キャラバン・メイト役員会や研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に充分配慮し、オンラインで開催した。

○キャラバン・メイトのスキルアップ研修、意見交流会の実施

※キャラバン・メイト連絡会を中心に、研修会の運営や意見交流会等を開催し、地域での認知症サポーターキャラバン事業を展開した。

※キャラバン・メイト＝認知症サポーター養成講座の講師役

○キャラバン・メイトへの情報提供(メイトだよりの発行)

○認知症サポーター養成講座の開催調整

○オレンジメンバー養成講座修了者の会「チームオレンジ東大阪」の活動支援

○オレンジメンバー研修会

※会場参加とオンライン参加のハイブリッド形式で実施した。ボランティアグループ「チームオレンジ東大阪」とSOSオレンジネットワーク登録事業所及びキャラバン・メイトとの合同研修会を開催し、43名(会場参加19名・オンライン参加24名)が参加した。

<認知症サポーター養成講座実施状況>

(月別実施回数・受講者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	11	3	11	14	12	8	8	16	11	7	17	5	123
受講者数	127	123	106	414	112	135	615	669	376	303	776	113	3,869

認知症サポーター養成講座 対象者別開催数

受講対象者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1.住民	1 民生委員・校区福祉委員等			1	1	2	1						1	6
	2 防災・防犯・SOS ネット													0
	3 自治会・老人クラブ・子供会			3	4	1		1	2			2	1	14
	4 ボランティア組織					1					1			2
	5 介護者のグループ													0
	6 その他一般住民ほか	5		5	4	3	2	3	4	4	4	1	7	3
2.企業・職域	1 警察・消防・郵便局													0
	2 金融機関	2												2
	3 タクシー・交通機関													0
	4 スーパー・コンビニ													0
	5 医療関係													0
	6 商店会													0
	7 その他											1		1
3.学校	1 幼稚園・保育園													0
	2 小学校		1		1		1	1	6	3	5	5		23
	3 中学校							1	1	1		1		4
	4 高校・専門学校・大学		1	1	4	5	3	2				1		17
	5 教職員等						1			1				2
4.行政	行政	1							2					3
5.介護サービス	介護福祉サービス従事者	3	1	1					1	2				8
合 計		11	3	11	14	12	8	8	16	11	7	17	5	123

(4) SOSオレンジネットワーク事業

SOSオレンジネットワーク事業は、行方不明になるおそれのある認知症の人を地域の支援者の協力を得て早期に発見できるよう、関係機関及び市内の企業等の支援体制を構築し、認知症の人の安全確保と家族への支援をを図ることを目的としている。認知症の人が行方不明になった際、協力事業所として登録いただいた関係機関や事業所に、本人の身体的特徴や行方不明時の身なりなどの状況を指定のメールにて配信し、それらしき方を見かけたら情報提供に協力をいただき、利用希望の方は家族から担当ケアマネジャーを通して住所地の地域包括支援センターに申請登録するシステムである。登録者には「見守りトライくんシール」(印刷されたコードを読み取ると事務局の連絡先が表示され、素早く身元確認ができるもの)を配布しており、東大阪市民や他市の市民からも連絡をいただき、見守りトライくんシールを介して早期発見・保護につながったケースは5件あった。さらに、「ロバで見守り隊」ステッカーを登録者(認知症高齢者)と協力事業所に配布し、登録者宅に貼付しその形状を記憶することで、本人が道に迷った際、事業所に貼付されたステッカーを目印に自身で助けを求める自助力を促すシステム作りを推進した。今後も多くの方に広報啓発し、認知症の人を見守るネットワークづくりを拡充していく。

登録者数	登録事業者数	搜索依頼	見守りトライくんシールでの発見件数
586 (-3)	179 (+3)	13 (+4)	5 (-4)

※()内の字は、対昨年度比

(5) 事業所ふくしネットワーク事業

事業所ふくしネットワーク事業は、新聞や飲料、食材、弁当などの宅配事業者とのネットワーク化を進め、高齢者世帯やひとり暮らし高齢者の方などに何か異変があった時には、地域の支援者の方と連携して、安否確認や緊急対応していく仕組みである。一刻も早く異常を察知できるように登録企業の増加を推進していく。

登録事業者数	調査件数
107 (+3)	9 (-5)

※ () 内の数字は、対昨年度比

(6) 顕彰事業

令和元・2年度にSOSオレンジネットワーク事業・事業所ふくしネットワーク事業に協力者として登録いただいた、それぞれ35事業所、8事業所の合計43事業所に対し、顕彰を行った。令和5年2月9日に東大阪市役所にて贈呈式を行い、第一生命保険株式会社（SOSオレンジネットワーク事業協力者代表）と産経新聞上小阪専売所（事業所ふくしネットワーク事業協力者代表）に東大阪市長・本協議会会長より感謝状と記念品が贈与された。この顕彰事業は今後も隔年で開催する予定。

(2) 市受託事業

①シニア地域活動実践塾「悠友塾」

高齢者の方々が健康で、より豊かな生きがいのある生活を送れるよう、「楽しく集い・学び・語らい・行動する」という機会と場を提供することを目的に開講した。今年度も新型コロナウイルス感染症感染防止対策として授業を2部制とし5月より開講した。

・実施期間：令和4年5月19日～令和5年2月2日

・開催日時：毎週木曜日（第3週目を除く） 9：30～12：00 13：00～15：30

・内 容：「専門科目」

（午前）「環境と自然を学ぶ」 「健やかなからだづくりを目指し、健康について学ぶ」

（午後）「歴史を学び、文化財を知る」 「日々のくらしから、福祉とまちづくりを考える」
の4つのコース

「共通科目」午前・午後の2コースずつが合同でともに学び、グループワークなどを通して仲間づくりができた。

・修了者数：78名（歴史・文化財：24名・くらしとまち：9名・環境自然：19名・健康：26名）

②介護予防事業

高齢者の介護予防を目的に各種教室を実施し、日常生活動作指導などを含め、利用者が気軽に参加できる教室を実施した。

事業名	実施回数	内 容	述べ参加人数
GO! ゴー! ピラティス	5	コア（体幹）を強化する体操	116
男性のための筋トレ教室	2	男性を対象にした健康体操	22
バランス健康体操	8	姿勢改善体操	216
歴史探訪ウォーク	1	ウォーキングをしながら史跡をめぐるイベント	22
計			376

③高齢者振り込め詐欺被害等防止機器設置事業

特殊詐欺被害防止のため、家庭用電話機に取り付ける振り込め詐欺被害等防止機器と迷惑防止機能付き電話機を無償貸与した。（期間満了後は無償で譲渡）今年度、振り込め詐欺被害等防止機器の申し込み件数は138件、設置数は、121件。迷惑防止機能付き電話機の申し込み件数は114件、設置件数は100件となった。

④ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい

令和4年度東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい

開催日：令和4年10月15日（土）東大阪市文化創造館 DreamHouse 大ホール

対象者：ダイヤモンド婚夫婦ー396組、 金婚夫婦ー1,046組

⑤高齢者eスポーツ促進事業

今年度は、新たに高齢者eスポーツ促進事業を市から受託し事業を展開した。eスポーツ広場開設に伴う施設整備を行い、eスポーツ体験会、eスポーツ教室を実施し、新たな利用者層を発掘することができた。

※eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの略称で、コンピューターゲームやビデオゲームを用いて行う競技やスポーツ全体を指す言葉。

事業名	実施回数	内 容	延べ参加人数
eスポーツ体験会	3	初心者を対象としたeスポーツ体験会	66
eスポーツ教室（6回コース）	2	初心者を対象としたeスポーツ教室	157
eスポーツ教室（3回コース）	2	初心者を対象としたeスポーツ教室	47
eスポーツ広場	常設	自由に参加出来る広場	269
計			539

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進（ボランティア・市民活動センター サテライト事業）

(1) ボランティアグループの活動支援

- ・「笑顔の会」によるひとり暮らし高齢者世帯への福祉電話訪問：中地区806件
- ・地域型ボランティア「希望の会」への定例会会場提供及び活動紹介
- ・楽しくトライ体操推進員の会への定例会会場提供及び活動紹介

(2) ボランティア養成事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。

(3) 弥生祭り「クラブ活動発表会」の開催時に介護予防活動の周知を目的として介護予防体操体験コーナーを設置した。

(4) カフェ悠友の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。

(5) 赤ちゃん広場へのボランティア派遣

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業が中止となった。

<シルバーボランティアセンターの活動内容>

活動内容	行事援助	話し相手	外出介助	子どもの遊び相手	演芸訪問	介護予防体操	その他	計
件数	0	0	0	4	0	11	0	15
活動延べ人数	0	0	0	4	0	123	0	127

<ボランティアグループ定例会>

ボランティアグループ名	回数	人数
悠友塾健康コースOB会1期生（悠友会）	0	0
悠友塾健康コースOB会2期生（健悠会）	12	167
悠友塾健康コースOB会4期生（あかね会）	6	63
希望の会（地域型ボランティア養成講座修了生）	0	0
チームオレンジ東大阪（オレンジメンバー養成講座修了生）	10	89
楽しくトライ体操推進員の会（楽しくトライ体操推進員養成講座修了生）	3	34

<角田総合老人センターボランティア>

グループ名	内 容	回数	人数
花壇ボランティア	正門前の花壇への花植・手入れ	2	9
カフェ悠友	センター内の喫茶コーナー運営に伴う打合せ	1	5

2. 五条老人センター

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して生きがい教室や各種教養講座・交流事業など内容や参加人数を見直し、利用者の安全を第一に考え運営してきた。

今年度は当老人センターを利用した高齢者の総数は10,141人、利用者数の月平均は845人で、1日平均は35人であった。この1年間に新規の利用者証を発行した人数は60人で、今年度の利用実人数（年度内に1回でも利用された方の人数）は男性146人、女性335人、合計481人であった。

・年間利用者数（開館日数：293日）（単位：人）

	男	女	計
年 間	5,483	4,658	10,141
一日平均	19	16	35

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

市民や利用者センター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、市政だより、東大阪ふくしだより、社協ホームページ、まなびにトライ等を活用するとともに、月間予定表「五条老人センター」を発行した。また、公道に面した正門横の掲示板を活用し、地域住民に対して老人センター事業の啓発を行った。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

①生涯教育事業

○教養講座

開催日	事業名	内 容	参加人数
4/8	防犯教室	枚岡警察・危機管理室による特殊詐欺被害防止の講話	13
7/29	教養講座	河内城ものがたり	18
8/31	スマホ教室初級編	スマートフォンの使い方を基礎から詳しく学ぶ	25
10/18	防犯教室	枚岡警察・危機管理室による特殊詐欺被害防止の講話	20
10/19			13
12/20	手作り作品教室	筆ペンを使って文字と絵を描きオリジナルのランタン作り	7
2/16	スマホ教室中級編	スマートフォンの使い方を詳しく学ぶ	20

○映画鑑賞会（午前・午後に分けて開催 参加人数は合計）

開催日	上映作品	参加人数
1/12	男はつらいよ / 釣りバカ日誌	31
3/16	男はつらいよ / ハチ公物語	32

○その他の教室、講座、交流事業

開催日	事業名	内 容	参加人数
8/3 12/1	ネイチャー講座（計2回）	「流木飾り」「クリスマスリース作り」を生駒ネイチャークラフトクラブが講師となり山や河で採取したツルや古木などで作品を作成した。	（述ベ） 19
9/29	重陽の集い	ボランティアグループによる紙芝居と演芸	24
2/3	将棋大会	トーナメント方式で開催 利用者間の相互交流を図る	16
3/3	囲碁大会	総当たり方式で開催 利用者間の相互交流を図る	16

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、生きがいづくりや人と人のつながりに重点を置いた生きがい教室を実施した。（飛沫感染の恐れのあるクラブは中止した）

①クラブ（講師付）・・・12クラブ

クラブ名	講師名	実施日			会員数	実施回数	延べ出席人数
		週	曜	時間			
華 道	勝山 満甫	第1・3	月	13:00-15:00	7	16	105
俳 句	立村 霜衣	第 2	月	13:00-15:30	14	11	123

クラブ名	講師名	実施日			会員数	実施回数	延べ出席人数
		週	曜	時間			
詩吟	西村 国良	第1・3	火	13:30-16:00	10	17	114
折り紙	中里見 順子	第1	火	9:30-11:30	8	11	83
書道	焼野 寿堂	第2・4	火	13:00-15:00	17	19	268
茶道	檀浦 宗柳	第2・4	水	13:00-15:00	10	20	204
歌体操	近藤 民子	第2	木	10:00-11:30	20	7	115
手芸	谷脇 睦子	第2・4	木	13:00-15:00	28	18	220
新舞踊	大石 和子	第1・3	金	14:00-16:00	15	19	212
民謡	植元 和市	第2・4	金	13:30-15:30	13	18	161
万華鏡	風間 愛子	第3	水	13:30-15:00	7	10	46
計					149	166	1,651

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止したクラブは、実施回数・出席人数を0と示す。

②クラブ（講師なし）・・・2クラブ

クラブ名	世話人	実施日			会員数	実施回数	延べ出席人数
		週	曜	時間			
カラオケ1部	耳兼 隆	第1・3	水	10:00-12:00	16	18	220
カラオケ2部	森川 剛	第1・3	水	13:00-15:00	13	18	143
計					29	36	363

③同好会（講師なし）・・・1クラブ

クラブ名	世話人	実施日			実施回数	延べ出席人数
		週	曜	時間		
水墨画	徳田 義夫	第2・4	火	10:00-12:00	20	204
計					20	204

(4) 地域交流事業・世代間交流事業

地域に根ざした老人センターとして、高齢者が安心かつ楽しく、いきいきとした生活を送ることができるよう、地域住民との交流を深めるため地域交流事業・世代間交流事業を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため地域への案内は行わなかった。

①地域交流事業

開催日	事業名	内容	参加人数
6/13他	消防訓練	体験と防火講話	47
8/29	夏祭り	長寿を祝って落語会	18
11/11	クラブ活動発表会	舞台発表	61
11/16・17		作品展示	140
計			266

②世代間交流事業

開催日	事業名	内容	参加人数
9月・他	あさひっこと一緒に	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止	0
1月	高校生と一緒に百人一首		
計			0

(5) 各種相談事業

日常生活の心配事や悩み、健康等に関する総合相談事業を実施

相談別	相談員	相談日	内容	相談件数
健康相談	看護師 早崎 葉子氏	第1木曜日 13:30~15:30	高齢者の健康上の悩みについて個別に相談を受け、助言や指導を行っている	25
生活相談	職員	常時	高齢者の日常の心配事などについて個別に相談を受け助言などを行っている	2
計				27

(6) 健康づくり推進事業

高齢者が運動機能の維持や向上を楽しみながら実施でき、いきいきと健康に暮らすための一助となることを目的に各種健康体操教室を開催した。利用者が気軽に参加できる「みんなの体操ひろば」は、介護予防活動ボランティア養成講座修了生で、かつセンター利用者でもある高齢者がボランティアリーダーとなって活躍している。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため人数制限や密を避ける工夫をしながら実施した。

①各種教室

開催日	教室名	内容	延べ参加人数
第2・4水曜日	初心者卓球教室	卓球を通して人との交流と健康づくりを推進	297
4/27他(計22回)	バランス健康体操	ボールを利用しストレッチを意識した介護予防体操教室	301
5/11・2/2	健康つぼ講座	手軽にできるツボ健康法	48
5/19他(計4回)	ヨガ教室	健康ヨガ教室	58
6/16他(計5回)	音楽療法	音楽を使って 心身共に健康づくり	95
10/11	いきいき美容教室	肌のお手入れ 化粧品を楽しみながら元気になれる	17

②みんなの体操ひろば・介護予防ボランティアグループによる講座

開催日	内容	延べ参加人数
第2月曜	介護予防活動ボランティアによる頭や体を刺激するゲームと運動のレクリエーション 指導：ボランティアグループ「エンジョイ」	187
第3月曜	介護予防活動ボランティアによる「楽しくトライ体操」やレクリエーションなど 指導：ボランティアグループ「ダンシング・クローバー」	186
第4月曜	介護予防活動ボランティアによる「転倒予防体操」や「脳トレーニング体操」、健康講話など 指導：ボランティアグループ「なかよし」	196

③健康づくり市民グループによる健康講座の開催（東保健センターとの共催事業）

開催日	講座名	内容	延べ参加人数
第3火曜	そよかぜの会	5月~2月の計8回開催 脳トレ、介護予防体操、健康や防災講話など	126
6/29	まちかど測定	体組成測定、脳トレ体操	33
合計			159

(7) 社協内三老人センター連携による交流会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業を中止した

(8) 実習、体験学習の受け入れ

- 小阪病院看護専門学校生：令和4年8月30日~31日、9月1日~2日、12月22日~23日
令和5年1月16日~2月24日までの間 計13名

(9) 苦情・要望等の件数及びその内容

- 0件

②高齢者地域支え合いセンター（ランチ）事業

例年は認知症の方を見守るためのネットワークと支え合うまちづくりを他の老人センターや関係機関とともに進めている。

- (1) ワンコイン生活サポート事業
- (2) 介護予防ボランティアの組織化及び活動支援
- (3) 認知症高齢者支援事業

(2) 市受託事業

①介護予防事業

○各種教室

開催日	教室名	内 容	延べ参加人数
4/16他（計23回）	ミックスみゅーじっく体操	座って健康な身体づくり	401

②高齢者eスポーツ促進事業

今年度より新たに高齢者の健康増進を目的に「高齢者eスポーツ促進事業」を展開した。1月6日に体験教室を開催し12名が参加された。

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進（ボランティア・市民活動センター サテライト事業）

- (1) 当センターの庭園清掃ボランティア活動：4月26日～11月22日 計6回 延べ84名参加
- (2) 紙芝居ボランティアグループ「レインボー」による子育てサロン等での活動：1回実施
- (3) 地域型ボランティアグループ「ダンシング・クローバー」による地域のサロン等での活動
- (4) ボランティアグループ「笑顔の会」によるひとり暮らし高齢者世帯へのふれあい福祉電話訪問
東地区 対象者158名・訪問回数437回・活動日数24日
- (5) ボランティアグループ例会開催状況

グループ名	内 容	回数	延べ参加人数
「なかよし」	介護予防体操指導後、活動内容のスキルアップや次回の打ち合わせ（2グループとも介護予防ボランティア）	11	40
「エンジョイ」		10	44
「あじさいの会」	活動内容の報告と打ち合わせ、情報交換	12	103
「ダンシング・クローバー」		10	41
※「クローバー」		0	0
「レインボー」	紙芝居の制作および実演に向けた練習	5	25
計		48	253

※「ダンシング・クローバー」と合併

(6) シルバーボランティアセンターの活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	外出介助	朗 読	演芸訪問	介護予防体操	その他	計
件 数	64	0	0	0	3	31	42	140
活動延べ人数	107	0	0	0	14	141	95	357

(7) ボランティア養成の実施

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため事業中止

3. 高井田老人センター

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、指定管理者施設として地域に密着した老人センターを目指し、高齢者がいきいきと心豊かに過ごすことの一助となる生きがい教室や介護予防事業を実施した。特に、毎月、介護予防として体を動かす体操や、手先を動かす簡単な小物づくりなどの教室を開催することで、新規の利用者が増加した。また、地域交流、世代間交流の取り組みについては、フレイル予防や高齢者の食育を大阪樟蔭女子大学（くすのき健康栄養センター）と連携し、大学生が講師役となった講座の開催や近隣の中学校の吹奏楽部の演奏鑑賞会の

開催、また認定こども園、保育所には折り紙でつくった動物や手作りのかばんをプレゼントするなど交流を深めた。

シルバーボランティアセンター事業や高齢者地域支え合いセンター事業（ランチ）としては、高齢者ボランティア活動の推進と拡充を図り、高齢者が主体となって活動できる仕組みづくりを支援してきた結果、今年度は、初めて小物づくりのボランティアグループが講師となり手作り作品の講座を実施した。また、まちあるき案内人ボランティア養成講座の卒業生もボランティアグループとして立ち上がり、コロナ禍で一人でも史跡めぐりができるようマップの作製を行った。またレクリエーションボランティアのグループも毎月、実践講座を開催することでシニアボランティアの登録者数が増加した。

また今年度の利用者数については、新しい取り組みの講座を開催したことで、延べ人数、実人数、新規の利用者とも目標を達成した。当センターを利用した高齢者の延べ人数は15,030人で、利用者数の月平均は1,253人、1日平均は51人であった。この1年間に新規の利用者証を発行した人数は236人で、利用実人数（年度内に1回でも利用された方の人数）は男性234人、女性741人、合計975人であった。

年間利用者数（開館日数：293日） (単位：人)

	男	女	計
年 間	5,182	9,848	15,030
一日平均	18	33	51

(1) 指定管理事業

①老人センター運営事業

(1) 情報提供（情報サービス・啓発事業）

市民や利用者センター事業や高齢者福祉等に関する情報を提供するために、「市政だより」や「東大阪ふくしだより」、「ホームページ」等を活用するとともに、月間行事予定表「高井田老人センター」を発行した。

(2) 教養講座・教室・レクリエーション事業

手づくり作品教室などを通して、趣味の輪を広げることや各種レクリエーション事業を開催し、高齢者の生きがいを推進する事業を展開した。

①教養講座

開催日	教 室	内 容	参加人数
4/13	防犯教室	危機管理室より特殊詐欺防止の講座	20
4/18	防犯教室	布施警察署より特殊詐欺防止の講座	25
7/27	医療講座	在宅医療のドクターより「もし癌と診断された時の上手な医療のかかり方」の講演	30
8/4	スマホ教室 入門編	はじめてスマホを使う方対象で、スマホの使い方の講座	21
11/10	フレイル予防講座	大阪樟蔭女子大学の学生より手作りかるたを使っての栄養学の講話	28
12/15	フレイル予防講座	AIを活用した歩行チェックと健康体操	52
1/6	フレイル予防講座	大阪樟蔭女子大学の学生によるスマホも学べる栄養講座	22

②レクリエーション事業

開催日	教 室	内 容	参加人数
4/6・5/3 6/29・7/29 8/8・8/26 11/29 12/29 1/25・2/22 3/29	映画鑑賞会 (計13回)	「鉄道員ぼっぼや」「男はつらいよ 寅次郎忘れな草」「綾小路きみまろ エキサイトライブ」「男はつらいよ 寅次郎恋やつれ」「七つの会議」「綾小路きみまろ爆笑エキサイトビデオ第3集」「男はつらいよ 浪花の恋の寅次郎」「武士の家計簿」「釣りバカ日誌 瀬戸の約束」「プリティーウーマン」「釣りバカ日誌 花のお江戸」「わが母の日」「ローマの休日」を上映	770
4/13	手作り教室	つるかごづくり	20
5/23	手作り教室	チョークアート体験教室	13
6/1	手作り教室	木の枝と布を使ってあんどんづくり	15
6/22	手作り教室	コーヒー豆の袋とあまり布で作る植木鉢カバーづくり	20

開催日	教室	内 容	参加人数
6/30	手作り教室	オリジナルスカーフづくり	19
9/7	敬老 お楽しみ会	プロの落語家と柔道整復師による「落語と健康体操」	35
9/21	手作り教室	縫わずにできるお薬手帳入れづくり	19
10/5	手作り教室	ペットボトルの蓋でつくるミニチュアガーデンづくり	22
10/13	手作り教室	字手紙の体験教室	21
10/19	手作り教室	難が去る九猿づくり	20
11/16	手作り教室	オリジナル印鑑ケースづくり	17
12/7	手作り教室	とっても簡単！しめ縄づくり	22
1/30	手作り教室	ココロカバーづくり	11
2/1	手作り教室	木目込みでお雛様づくり	22

(3) 高齢者生きがい教室（クラブ活動）

高齢者の生涯教育の一環として、人と人のつながりに重点を置いた生きがい教室を実施した。

（発声を伴うクラブ活動は休止中）

①クラブ活動

クラブ名	講師名	実施日			会員数	実施回数	延べ出席人数
		週	曜	時 間			
(未生流) 華 道 (ワカ-ルツギ 以外)	祥鶴庵 松島 愛圃 風間 愛子	第 2	火	13:30-15:00	15	38	257
		第 4	火	13:30-15:00	15		
詩 吟	植田 豊嶋	第2・4	火	13:00-15:00	20	22	198
茶 道	安田 綾子	第2・4	水	13:00-15:00	20	20	153
新 舞 踊	竹田 恵子	第1・3	金	13:00-15:00	20	20	232
民 謡	井上 美由紀	第1・3	月	13:00-15:00	20	21	442
歌 体 操	沖田 加世子	第1・3	水	10:00-11:00	30	42	988
歌 体 操	沖田 加世子	第1・3	金	10:00-11:00	30		
歌 体 操	沖田 加世子	第2・4	月	10:00-11:00	30		
俳 句	下山 芳子	第 2	月	13:00-16:00	20	11	130
絵 手 紙	二階堂 サチ子	第2・4	火	10:00-12:00	30	22	234
カラオケ		第1・3	金	13:00-15:00	30	22	187
水 彩 画	川口 誠次	第1・3	火	13:00-15:00	40	22	275
はじめての フラダンス	森 千穂	第1	木	13:30-14:30	20	22	284
		第1	木	14:45-15:45	20		
計						0	3, 380

②同好会活動

実施曜日	教室	実施回数	内 容	延べ参加人数
第1・3火曜	おりにふれて（折り紙同好会）	15	折り紙	126
第 1 水曜	写真同好会	7	写真撮影を通じて交流の輪を広げる	26
第2・4木曜	ポリマークレイ同好会	14	粘土のアクセサリーづくり	79
第1・3木曜 午前・午後	おもしろ筆ペン教室	39	筆ペンを使ってオリジナル作品をつくる	325
第2・4木曜	手芸	21	木目込みでの色紙、短冊づくり	154

(4) 地域交流事業・世代間交流事業

地域に根ざした老人センターとして、高齢者が安全かつ安心した生活をいきいきと送ることができるように、地域へ参加を呼びかけ、感染対策を取りながら開催した。

①地域世代間交流事業

開催日	教室名	内 容	参加人数
8/19 3/30	チーム対抗カラオケ大会と 吹奏学部の演奏鑑賞会	布施中学校吹奏楽部と高齢者がチームを組みカラオケの点数を競う、その後吹奏楽部の演奏を鑑賞するなど交流を深める	42

(5) 各種相談事業

日常生活の心配事や悩み、健康等に関する相談事業を実施

相談別	相談員	相談日	内 容	相談件数
健康相談	看護師 引田 妙子 氏	第2水曜日 14:00～15:30	高齢者の健康上の悩みについて個別助言、指導	6

(6) 健康づくり推進事業

高齢者の健康と体力維持を目的とした事業を展開するにあたり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限や密をさける工夫をしながら、各種健康体操教室を開催した。特に、今年度は自宅でもできる体操を取り入れた教室を多く開催した。

①各種教室

開催日	教室名	内 容	延べ 参加人数
6/15	毎日続ければ痩せるかも？健康ツボ講座	健康なからだづくりのツボを学ぶ体験教室	35
毎月第2金曜 (8月、3月を除く)	男性の ^{けんこう} 健幸運動教室	インストラクターによる椅子に座ったままできる体操と男性の筋力トレーニングの体験教室	189
毎月第4金曜 (8月、3月を除く)	女性の ^{けんこう} 健幸運動教室	インストラクターによる椅子に座ったままできる体操と女性の筋力トレーニングの体験教室	249
毎月第2・4金曜 (8月、3月を除く)	リズムDE体操	音楽に合わせたエアロビクス体操とストレッチ体操	478
毎月第3木曜(4月、8月、3月を除く)	健康体操 海健道教室	ヨガと呼吸法を取り入れた健康体操	247
毎月第2・4金曜	はじめての卓球教室	卓球を通じて人の交流と健康づくり	218

②「楽しくトライ体操」

介護予防活動ボランティアリーダー・ボランティアグループ「ハミング」による介護予防体操や脳トレ、レクリエーション等を検討し、講座にて実施した。

実施日	内 容	延べ ボランティア数	延べ 参加人数
5/19・6/16・7/21 9/15・10/20 11/17・1/19 2/2・3/16	楽しくトライ体操、ストレッチ、脳のトレーニング、コグニサイズ、パタカラ体操、あいうべ体操、その他レクリエーション等	37	248

③バンパー、囲碁、将棋など、高齢者のニーズにあった趣味を通じて交流を図り、心身の健康増進に努めた。

(7) 老人センター交流事業

- ・三老人センター利用者の交流事業 (今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)

(8) 実習、体験学習の受け入れ

- ・小阪病院看護専門学校生 R4年8月30日・31日・R5年1月10日～3月10日までの間計11名
- ・武庫川女子大学・関西福祉科学大学 R4年9月14日 各1名
- ・大阪府立布施北高等学校 R4年9月6・7日 1名

(9) 苦情・要望等の件数及びその内容

- ・利用者からの要望等はなく、適切な事業運営を行った。

②高齢者地域支え合いセンター（ランチ）事業

認知症支援など高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるように、地域で助け合い、支え合うことができることを目指して三老人センターが協力して事業を実施した。

(1) 介護予防ボランティアの組織化及び活動支援

- ・介護予防ボランティアの活動支援

(2) 市受託事業

①介護予防事業

①各種教室

開催日	教室名	内 容	延べ参加人数
毎月第2・4木曜 (8月、3月を除く)	気功体操	呼吸に合わせてゆったりと動く体操	493
毎月第3水曜 (4月、8月、3月を除く)	転ばないための がんばる体操	下肢筋力アップを中心とした体操教室	439
概ね毎月第2火曜	eスポーツ	大学生に操作を教えてもらいながら、テレビ ゲームでスポーツを体験する	34
計			966

②高齢者eスポーツ促進事業

今年度より新たに高齢者の健康増進を目的に「高齢者eスポーツ促進事業」を展開した。桃山大学の学生に協力を仰ぎ、1月より体験教室を4回開催し延べ34名が参加された。

(3) その他

①シルバーボランティアセンター事業の推進（ボランティア・市民活動センター サテライト事業）

高齢者のボランティア活動の育成推進と拡充を図り、地域活動への参加を推進した。

- (1) ボランティアグループ「笑顔の会」によるひとり暮らし高齢者世帯へのふれあい福祉電話訪問/西地区：対象者657名・回数2,664回・活動日数49回

(2) ボランティアグループ定例会開催

ボランティアグループ名	内 容	回数	延べ 参加人数
介護予防活動ボランティア グループ「ハミング」	定例会：月1回程度（年間8回実施） 講座内容の検討とタイムテーブル作成	8	31
介護予防活動ボランティア グループ「赤いくま」	定例会：月1回程度 ブルタブやはぎれなど廃棄される物をリメイクした 小物づくり	13	132
介護予防活動ボランティア グループ「ポピーの会」	定例会：月1回程度 レクレーションボランティア実践講座への運営協力 と参加者への話し相手	8	51
「シニアまちあるき案内人 ボランティア」	定例会：月1回程度 市内の史跡巡りのためのオリジナル資料づくり	10	123

(3) ボランティア（グループ）による教室の開催

ボランティアグループ名	内 容	回数	延べ参加人数
介護予防活動ボランティアグループ「赤いくま」	「コーヒー豆の袋とあまり布で作る植木鉢カバーづくり」「縫わずにできるお薬手帳入れづくり」「松ぼっくりでつくるクリスマスツリー」教室	3	90

(4) シルバーボランティアセンターの活動内容

活動内容	行事援助	話し相手	清掃	朗 読	見守り	介護予防体操	その他	計
件 数	8	8	0	0	0	21	10	47
延べ活動人数	51	51	0	0	0	163	123	388

(5) ボランティア養成の実施

開催日	教 室	講 師	参加人数
9/5・10/17・11/27 12/19・1/16	シニアまちあるきボランティア養成講座	元東大阪市教育委員会文化財課職員 勝田 邦夫 氏	25
毎月第1水曜（8月を除く）	レクリエーションボランティア実践講座	社会福祉士・介護福祉士 魚谷 幸司氏	94

4. 重層的支援体制整備事業

①重層的支援体制整備事業

近年、少子高齢化や人口減少、世帯構造の変化など地域住民を取り巻く環境の変化により、個人や世帯が抱える生きづらさや課題の複雑化・複合化が進んでおり、社会的孤立や8050問題、介護と育児のダブルケア、ヤングケアラーなど、単一の専門分野の制度利用や支援だけでは十分に対応できないケースも増加している。

こうした中、新たに創設された重層的支援体制整備事業は、高齢・障害・子ども・生活困窮といった分野別の支援体制では対応できないような地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、市町村において、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」及び「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するものである。東大阪市が本年度よりスタートすることとなった本事業では、多職種による連携や多機関の協働が事業の重要な基盤となるため、関係者間において、円滑な情報共有や協議が行えるよう、社会福祉協議会に新たに3名の専任職員（重層 CSW）が配置されることとなり、当協議会の専任職員と、東大阪市の専任職員が連携して重層的支援会議（本人同意のケース）と支援会議（本人同意がないケース）の2つの会議体を設置し、関係機関と共に課題解決のため支援会議を開催した。

(1) 各種会議の開催

①担当者会議

関係機関から提出された相談ケースの内容を精査し、多機関協働事業（重層的支援会議・支援会議）として対応を検討するため開催する。

②支援会議

本人同意がないケースに関して会議の構成員に対する守秘義務を設け、関係機関がそれぞれ把握していながらも支援が届いていない個々の事案の情報共有や地域における必要な支援体制の検討を円滑にするために開催する。

③重層的支援会議

関係機関との情報共有にかかる本人同意を得たケースに関して、当該ケースのプランを共有し、その適切性を協議するために開催する。

件数	地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談 (延べ件数)	全地域		42	37	42	49	66	62	67	68	68	55	79	635
担当者会議	全地域		26	8	4	19	10	10	8	6	12	6	50	159
受付申込	全地域		7	1	4	5	1	2	2	2	2	4	1	31
支援会議	東地域		0	1	0	1	0	3	0	1	0	2	1	9
	中地域		0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	5
	西地域		1	0	1	0	1	2	1	1	2	2	2	13
重層的支援 会議	東地域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中地域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西地域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※5月より受付開始

(2) 多機関協働事業における連携強化を図るため各専門機関への啓発活動と連携

- ①基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、委託相談支援センター、高齢・障害等事業所、ひきこもり支援等事業所、CSW、社会貢献支援員、施設CSW
- ②市内の小中学校、中学校等（SSW含む）、医療機関など
- ③福祉事務所、保健センター、子ども見守り相談センター、障害施策推進課、生活支援課、東大阪市動物指導センター、環境事業所等の行政機関
- ④民生委員、その他

(3) CSW・COW合同連絡会及び研究会におけるスーパーバイズの役割

CSW・COWが毎月合同で行っている連絡会および研究会では、CSWが対応している複合多問題ケース、世帯に関して多機関協働事業と思われるケースについては重層的支援体制整備事業として取り扱い支援会議を開催した。

(4) 重層的支援体制整備事業に係る研修会へ参加

研修会	実施月/回数
令和4年度 包括的支援体制構築推進事業 第1回全体研修会	7月/1回
厚生労働省主催 VOD研修 「包括的支援体制の制度的理解」「包括的支援体制における個別支援の考え方」 「包括的支援体制の構築」「地域づくり」	8月/4回
厚生労働省主催 ライブ研修 「連携について考える」「重層的支援体制構築推進人材養成研修」他市町村とグループワーク	9月/2回
厚生労働省主催 分野別 ライブ研修 「多機関協働事業者向け」「地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制の整備について、他市町村とグループワーク	1月/2回
厚生労働省主催 分野別 ライブ研修 「アウトリーチ等を通じた計測的支援事業者向け研修」「参加支援事業者向け研修」、他市町村とグループワーク	2月/2回
東大阪市西協議会「心身喪失等医療観察法について」ハイブリッド研修	2月/1回

(5) 研修会への職員派遣

開催日	講座名	開催場所	派遣内容
11/1	令和4年度大阪府知事認定CSWマイスター研修会	シティプラザ大阪2F「旬」	講師
12/15	西地域別会議	ランチ永和	講師

(6) 重層的支援会議及び支援会議における関係機関との調整

(7) 広報啓発

- ①広報紙「東大阪ふくしだより」10月1日号に掲載
- ②ホームページへの掲載

②コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業の相談内容は、社会的にも課題となっているセルフネグレクトや複合多問題、コロナ禍による生活困窮や引きこもり、緊急的な支援の必要な事例等が増加傾向であった。このため、分野を超えた専門機関との更なる連携強化に努めた。社協地域担当職員（COW）主催の地域福祉ネットワーク推進会議においても、専門機関の顔の見える関係や顔のわかる関係の構築と多職種による連携支援に取り組んだ。また、CSWとCOWの合同連絡会・研究会では、新たに重層CSWも参加し、スーパーバイザーによる指導や行政の協力を得て情報共有やスキルアップを図り、CSW連携会では東・中地域と西地域の2か所での開催と全体での開催を行った。

(1) いきいきネット相談支援センターCSW活動報告書、CSW・COW活動報告書概要版の作成

(2) 相談業務の資料収集と情報提供

(3) 各関係機関との連携

- ①校区福祉委員会連合会
- ②民生委員児童委員協議会連合会
- ③自治協議会
- ④社会貢献支援員
- ⑤基幹型地域包括支援センター、地域包括支援センター
- ⑥基幹相談支援センター、委託相談支援センター
- ⑦市内の小学校、中学校、地域教育協議会、子育て支援センター
- ⑧福祉事務所、保健センター、生活支援室、子ども見守り相談センター、環境事業所等の行政機関
- ⑨大阪社会福祉士会（ホームレス巡回相談指導事業）
- ⑩大阪府地域生活定着支援センター
- ⑪東大阪市動物指導センター
- ⑫その他

(4) 広報啓発

- ①広報紙「東大阪ふくしだより」5月1日号・10月1日号に掲載
- ②「東大阪市政だより」福祉なんでも相談掲載
- ③ホームページ、SNSへの掲載

(5) 東大阪市CSW・COW合同連絡会の開催（計11回 ※内4回研究会と合同開催）

情報交換とさらなる連携強化を目指して、重層CSW・CSW・COWが毎月合同で連絡会を開催した。引き続き大阪教育大学の新崎特任教授をスーパーバイザーとして招き、助言や指導のもとCSWのスキルアップや行政との連携を図った。本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、状況を見ながら対面形式、リモート形式で開催した。

- ・開催日：毎月第2月曜日（原則）
- ・開催場所：角田総合老人センター他
- ・出席者：新崎特任教授、市福祉部附地域福祉課、重層CSW（3名）、CSW（13名）、COW（7名）、コーディネーター

(6) CSW連携会の開催（計12回）

連携会が13名のCSWにとってより身近な会議となるように、東・中地域と西地域の2か所での開催と全体での開催に取り組み、個別相談への支援や地域のセーフティネットの構築に向けて、情報交換やピアサポートを行った。

(7) CSW・COW合同研究会の開催（計11回 ※内4回連絡会と合同開催）

スーパーバイザーの新崎特任教授より、個別支援から地域支援への展開について等の助言や指導を仰いだ。また他機関より講師を招きCSWのスキルアップに努めた。

(8) COWが主催する地域福祉ネットワーク推進会議への協力と参画

(9) 市民プラザでの「福祉なんでも相談」の実施

(10) 担当中学校区の主な動き

① 縄手北・枚岡中学校区いきいきネット相談支援センター・・・五条老人センターに設置

○延べ相談回数4,111回（高齢者23件、障害者14件、子育て中の親3件、児童2件、他41件）

○主な相談事例

- ・家族が他界、残された本人に対するの支援
（重層CSW、行政、障害児者基幹相談支援センター、委託相談支援センターと連携）
- ・母子世帯（ヤングケアラー世帯）生活困窮等で制度利用に向けて支援
（重層CSW、行政・委託相談支援センターと連携）
- ・生活困窮に陥っている一人暮らし高齢者への支援
（地域包括支援センター・行政と連携）
- ・体調不調にて救急搬送された単身世帯への制度へのつなぎに向けて支援
（保護課と連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・縄手北校区連合会議
- ・縄手北校区福祉委員会「ふれあいのつどい」
- ・枚岡西校区福祉委員会「サマースクール」「はっぴーサロン」「防災イベント」
- ・福祉事務所・地域包括支援センター・生活支援課・保健センター・生活支援課・東大阪市障害児者支援センター レピラ 基幹相談支援センター・障害者委託相談支援センター等

○その他

- ・行政・地域包括支援センター等と連携した相談支援援助活動
- ・他校区のCSW配置施設との情報交換・情報提供、相談のつなぎ等
- ・四条市民プラザにて「福祉なんでも相談」（毎月第1火曜日開催）

② 縄手・くすは縄手南中学校区いきいきネット相談支援センター・・・五条老人センターに設置

○延べ相談回数：1,074回（高齢者14件、障害者15件、子育て中の親7件、その他13件）

○主な相談事例

- ・60代独居男性の生活困窮支援（地域包括支援センター・保護課と連携）
- ・外国籍母子世帯の生活困窮支援（子ども見守り相談センター・社会貢献支援員・保護課と連携）
- ・母子世帯の世帯分離の支援（地域包括支援センター・高齢介護課・社会貢献支援員と連携）
- ・母子世帯の生活困窮・債務整理の支援（市生活支援課・保護課と連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・縄手・上四条校区福祉委員会「サマースクール」
- ・縄手・上四条校区福祉委員会「子育てサロン」
- ・縄手・上四条校区福祉委員会・小ネット研修会（介護予防等）
- ・縄手・上四条校区民生委員会
- ・縄手南校区総会（自治連合会・民生委員会・校区福祉委員会）
- ・地域福祉ネットワーク推進会議

○その他

- ・地域福祉コーディネーターのための基礎研修（5日間）
- ・四条市民プラザにて「福祉なんでも相談」（毎月第1火曜日開催）

③盾津・池島学園中学校区いきいきネット相談支援センター・・・角田総合老人センターに設置

○延べ相談回数：3,570回（高齢者20件、障害者17件、子育て中の親4件、その他25件）

○主な相談事例

- ・発達障害のあるひきこもりの方の生活保護へのつなぎ、関係機関と連絡調整（行政、保健センター、障害関係と連携）
- ・認知症高齢者の見守り、関係機関と連絡調整（行政、地域包括支援センターと連携）
- ・虐待ケースのSOSへの対応、関係機関と連絡調整（行政、保健センターと連携）
- ・ホームレス状態の知的障害者の相談支援、関係機関と連絡調整（行政、社貢献、障害関係、他市CSWと連携）

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・成和校区福祉委員会「高齢者サロン」
- ・鴻池東校区福祉委員会「子育てサロン」「小地域ネットワークボランティア全体研修」「防災訓練」「子どもまつり」
- ・池島校区福祉委員会「健康講座」「子育てサロン」「おやじ喫茶」「文化祭」「音楽祭」
- ・角田自治会「グランドゴルフ大会」
- ・池島・鴻池東・弥栄校区 民生委員児童委員定例会
- ・地域福祉ネットワーク推進会議（東地域）（中地域）
- ・中地域別会議
- ・重層的支援体制整備事業「支援会議」
- ・福祉事務所、保健センター、子育て支援センター、障害者児支援センター等

○その他

- ・中鴻池市民プラザ、日下市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・地域包括支援センター、行政、障害関係等との連携した相談活動
- ・社会貢献CSW連絡会
- ・令和4年度 ひきこもり支援セミナー等

④盾津東・英田中学校区いきいきネット相談支援センター・・・角田総合老人センターに設置

○延べ相談回数 2,478回（高齢者18件、障害者13件、子育て中の親3件、児童1件、その他27件）

○主な相談事例

- ・精神疾患の疑いのある男性への転居支援（市生活支援課・地域包括支援センター・社会貢献支援員・福祉事務所との連携）
- ・入院中の半身麻痺の女性の退院後の住まい等生活全般相談（民生委員・病院・地域包括支援センター・ケアマネジャー・相談支援専門員との連携）
- ・生活困窮者の生活保護申請、債務整理、関係機関との連絡調整（市生活支援課・福祉事務所・弁護士との連携）
- ・ヤングケアラーの相談支援（学校・NPO法人との連携）

○担当中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・加納、北宮、英田北、英田南民生委員児童委員会
- ・加納校区福祉委員会「役員勉強会」「幹事会」「クリスマス会」
- ・（障害）中地域別会議 ・地域福祉ネットワーク推進会議
- ・社会貢献支援員CSW連絡会 ・福祉事務所、保健センター、施設、事業所、学校、病院等

○その他

- ・東大阪市ヤングケアラー関係機関職員研修
- ・中鴻池市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・地域包括支援センター等との連携した相談活動
- ・他のCSW 配置施設との情報交換や情報提供、相談のつなぎ等

⑤楠根・高井田中学校区いきいきネット相談支援センター・・・高井田老人センターに設置

○延べ相談回数：3,755回（高齢者29件、障害者20件、子育て中の親8件、その他21件）

○主な相談事例

- ・生活困窮者への支援（民生委員、各関係機関、行政と連携）
- ・高齢者の居住支援（各関係機関と連携）
- ・制度利用につながるための支援（各専門機関と連携）
- ・ひとり暮らし高齢者の見守り訪問支援（専門機関と連携）
- ・子育て中の親への支援（各関係機関と連携）
- ・就労困難の方への支援（就労支援員、各関係機関と連携）
- ・債務整理についての支援（各専門機関と連携）

- ・引きこもりになっている方への支援（専門機関と連携）
- 担当中学校区における会議等への出席や訪問活動
 - ・西地域別会議
 - ・西地域ミーティング
 - ・西地域福祉ネットワーク推進会議
 - ・福祉事務所、保健センター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、学校、精神科病院等
 - ・重層的支援体制整備事業「支援会議」
- その他
 - ・楠根市民プラザにて「福祉なんでも相談」
 - ・他のCSW 配置設置との情報交換や情報提供、相談のつなぎ

⑥新喜多・長栄中学校区いきいきネット相談支援センター・・・高井田老人センターに設置

○延べ相談回数：6,748 回（高齢者41件、障害44件、子育て中の親6件、児童2件、その他22件）

○主な相談事例

- ・生活困窮の三世帯世帯への支援（社貢献支援員、生活支援課と連携）
- ・高齢の両親と暮らす引きこもりの50代への支援（親のケアマネ、ひきこもり相談との連携）
- ・鬱病で自殺願望のある独居者への支援（保健センター、精神科病院と連携）
- ・退院して地域で生活される脳梗塞後遺症のある独居者への支援（病院、委託相談、福祉事務所と連携）
- ・親が他界した知的障害のある方への支援（地域包括、委託相談と連携）
- ・知的障害の親と無職の子どもの世帯への支援（委託相談、生活支援課と連携）
- ・金銭管理が難しく債務のある精神疾患のある方への支援（委託相談、福祉事務所、入所施設と連携）
- ・家賃滞納により転居が必要な精神疾患のある方への支援（委託相談、社貢献支援員と連携）

○担当中学校区と隣接中学校区における会議等への出席や訪問活動

- ・地域福祉ネットワーク推進会議（西地域）
- ・西地域別会議
- ・福祉事務所、保健センター、地域包括支援センター、委託相談支援センター、病院等

○その他

- ・布施駅前市民プラザにて「福祉なんでも相談」
- ・高井田老人センタークラブ活動発表会での「福祉なんでも相談」

5. 地域福祉ネットワーク推進事業（地域担当）

（1）地域支援活動

社協地域担当職員（COW）は三老人センターに7名配置され、校区福祉委員会を中心に地域福祉を推進する各種団体が取り組む活動に対する支援を展開した。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の地域活動が困難で自粛や延期を余儀なくされたが、地域と協議して内容を変更し、地域の新しい取り組みによってつながりが途切れないように地域支援活動を展開した。また、災害時要支援者の個別避難計画作成事業においては地域の方への事業説明や、会議の調整役として参画・協力した。

- ①高齢者サロン自粛のため、戸別配布と掲示板を活用して高齢者向けの脳トレクイズを出題し介護予防に努めた。
- ②新型コロナウイルス感染症の対策をふまえて、避難所開設や運営について学ぶ。
- ③食事は見守りを兼ねた配食活動に変更された。
- ④サロンは広い会場へ変更をし、二部制にするなど密を避ける工夫をして開催。
- ⑤子どもの居場所づくりでは、大学生によるYouTubeでのクイズや絵手紙の作り方配信を行う。
- ⑥夏休みに子どもに対して、カレーの持ち帰りを開催。
- ⑦子どもの映画観賞会開催。
- ⑧高齢者サロンで、歌ごえサロンを自粛する代替えとして、映画鑑賞会を開催。

（2）専門機関との連携強化

①地域福祉ネットワーク推進会議の開催

この会議は、各種事業者・関係機関等が高齢・児童・障害などの分野を超えてつどい、“制度の狭間にある人” “複合的な課題を抱えた人”などの地域課題の発見や解決への取り組み、地域福祉推進のための連携や役

割分担について話し合うことで、誰もが安心して暮らしていくことのできる福祉のまちづくりを目指して開催している。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、オンライン(ハイブリッド形式も含む)や対面で開催した。オンライン上でもグループワークやアンケートを実施するなど、参加者の声を聞き取るように工夫した。

地域	開催日	内 容
東地域	8/18	「一災害に備えて一個別避難計画について知っていますか？」 ～個別避難計画について皆さんと一緒に考えましょう～ (会場参加：31名 オンライン：28名 計：59名)
	2/14	「災害時の個別避難計画を作成した地域の声をきこう」 ～個別避難計画作成を実践している池島校区を舞台に地域活動から個別避難計画作成についてご紹介～ (会場参加：35名 オンライン：18名 計：53名)
	3/14	「誰もが住みやすい地域づくり」 NW 推進会議 番外編 (会場参加：30名)
中地域	9/26	個別避難計画を知ろう ～専門職として平時からの繋がり・備えについて～ (会場参加：33名 オンライン：12名 計：45名)
	2/9	コロナ禍での防災訓練 ～地域みんなで防災意識を高めよう～ (会場参加：30名 オンライン：7名 計：37名)
	3/20	「誰もが住みやすい地域づくり」 NW 推進会議 番外編 (会場参加：25名)
西地域	8/30	精神疾患への対応 ～困った時は関係機関で助け合おう～ (会場参加：14名 オンライン：15名 計：29名)
	2/20	災害に備えよう！個別避難計画～地域のつながりの輪を持とう (会場参加：27名)
	3/24	「誰もが住みやすい地域づくり」 NW 推進会議 番外編 (会場参加：35名)

(3) 小地域ネットワーク活動の展開 (実施校区福祉委員会：全45校区)

①活動内容

- 個別援助活動：見守り・声かけ訪問
- グループ活動：いきいきサロン、世代間交流、子育て支援活動、研修会 等

②小地域ネットワーク活動の充実

- 介護予防事業は、小地域ネットワーク活動における介護予防の取り組みを推進し、介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的として、校区福祉委員会が146回実施した。
- 災害時の取り組みについては、被災直後の地域住民同士の助け合いから、本格的な復興に向けての取り組みまで、その基盤となる平時から地域でのつながりが最も大切であることは明らかである。日ごろから地域福祉活動の中心として活動実践している校区福祉委員会が社会福祉協議会と連携して、日ごろの活動を活かし、地域住民とともにその地域を守るために、要援護者の支援活動を中心とした包括的な防災訓練に取り組んだ。

③小地域ネットワーク活動「介護予防事業」・「メニュー事業」実施状況

小地域ネットワーク活動「介護予防事業」	実施校区数	実施回数
①運動実技指導	19	46
②口腔衛生指導	3	4
③栄養指導	5	7
④健康講座	26	70
⑤認知症サポーター養成講座	9	13
⑥ボランティアスクール	0	0
⑦広報啓発活動	6	6
小地域ネットワーク活動「メニュー事業」	実施校区数	実施回数
①災害時要援護者等防災訓練	6	6
②タウンミーティング(地域懇談会)	0	0

6. 権利擁護事業

※地域包括支援センターの権利擁護業務は別掲

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症や知的障害、精神障害等で自己の判断のみでは意思決定に支障があるために、福祉サービスの利用契約を結ぶ事が困難な方が、安心して適切なサービスを利用できるように、日常的な金銭管理、書類預かりなどの支援を行うことによって、住み慣れた地域で自立した生活を送れることを目的としている。申し込みにおいては新規利用契約は32件締結した一方、死亡や他市への転居、成年後見制度へ移行したことによる終了ケースが65件あり、年度末の利用件数は333件となった。終了ケースについては、関係機関と連絡を密に取り、保管物品を引き継ぐことができた。成年後見制度への移行については、利用者と丁寧に関わり、関係機関・市と連携を図ることにより、25ケース結びつけることができた。また、福祉事務所・障害者相談支援事業所等の関係機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・病院等の関係機関から、サービスを希望する相談受付が97件あった。利用希望の相談は、ほとんどが関係機関からであり、ご本人が自身にとって適切な制度を選択することができるよう、関係機関職員との連携をとったうえで、成年後見サポートセンター職員と同行訪問し、制度の説明を行った。また相談内容については、本事業では対応できない相談もあり、成年後見制度等の説明を行った。

○日常生活自立支援事業比較概要表

(単位：件数)

対象者の分類		年 度	R3年度 (参考)	R4年度
1. 利用件数(年度末現在)			366	333
区 分	認知症高齢者等		87	72
	知的障害者等		93	91
	精神障害者等		186	170
2. 新規利用契約件数			62	32
3. 契約終了件数			48	65
4. 利用申込受付件数(初回相談援助件数)			99	97
5. 相談援助件数(4の初回相談援助件数を除く)			4,851	4,929
区 分	認知症高齢者等		1,084	1,080
	知的障害者等		1,195	1,237
	精神障害者等		2,562	2,601
	不明・その他		10	11
6. サービス派遣件数			6,664	6,701
区 分	認知症高齢者等		1,187	1,140
	知的障害者等		1,716	1,726
	精神障害者等		3,761	3,835

(2) 東大阪市生活保護受給者福祉サービス利用援助及び金銭管理等支援事業

この事業は、認知症や知的障害、精神障害等で判断能力が不十分な生活保護受給者の安定した社会生活、日常生活の維持と自立助長を目的としている。今年度も市担当部局との調整を重ね、生活指導や指示を行う生活保護ケースワーカーと連携を図り、判断能力が不十分な利用者に対して、福祉サービスや金銭管理支援等の定期的な訪問により生活の変化を察知し、利用者の安定した生活が維持できるよう支援を行った。

(3) 市民後見推進事業

市民後見推進事業は、誰もが住み慣れたところで自分らしく安心して暮らせる地域づくりをめざすため、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、地域福祉の観点から、市民が後見業務の新たな担い手として適切に活動できるよう支援し、成年後見制度の利用の促進を図ることを目的に実施している。

市民後見人の養成では、大阪府社会福祉協議会が開催する市民後見人養成講座の広報活動や基礎講習(4日間)、実務講習(5日間)に参加し、参加者の把握や面接への参加など、事務局として補助的な業務を行った。養成講座(基礎講習、実務講習、フォローアップ講習)の期間は、9月～1月までの約5ヵ月間であり、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため施設実習は中止した。

市民後見人バンク登録者研修では、後見活動に関する情報や知識の習得、グループワークでの事例検討会など

の研修会（年5回）に参加し、事務局として補助的な業務を行った。今年度は、被後見人の死亡による終了のケースが1件あり、現在5名の市民後見人が後見活動を展開している。

①市民後見人養成講座の参加人数

オリエンテーション	基礎講習	実務講習	修了者	登録予定者
18名	6名	5名	5名	5名

②市民後見人バンク登録者・受任状況

年度	～R3 (養成講座受講年度)	R4 (養成講座受講年度)	計	
バンク登録者数	51名	5名	56名	※現登録者33名
市民後見人の受任数	10件	0件	10件	※うち5件終了

③専門相談（弁護士・司法書士・社会福祉士のいずれかの専門職と市民後見人で実施）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	0	2	2	1	2	0	1	1	1	1	1	14

④地域別バンク登録者研修の開催

日時	内容	講師	参加人数
3/13 10:30-12:00	市民後見人の活動報告と質疑応答 バンク登録者交流会	市民後見人 山本雅子氏	10名

(4) 成年後見制度利用促進事業（成年後見サポートセンター）

権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける、一層の充実をはじめ、成年後見制度利用促進の取組をさらに進めるため、東大阪市との協働で専門職や関係機関による「東大阪市成年後見制度利用促進協議会」の運営を行った。

また成年後見サポートセンターでは、制度や相談窓口に関する情報を、ウェブサイト、広報紙等、様々な媒体を通じて発信を行うとともに、意思決定支援の浸透に向けた事例検討会の開催や、市民や福祉専門職、行政職員等に向けた研修会の開催、三土会の協力による専門相談事業（専門職派遣）の本格実施等により、「権利擁護支援チーム」を支えるための体制強化に取り組んだ。

①東大阪市成年後見制度利用促進協議会の開催（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

※第2期基本計画から協議会ではR4より分科会を解消し全体会議を下記の通り実施

会議	開催日	議 題
第1回 全大会	5/24	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の体制及び、今後のスケジュールについて R3 事業報告 R3 受理簿集計結果 第二期計画を踏まえた協議会での検討課題について
第2回 全大会	8/8	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援の浸透について 受任者調整会議について 専門相談実施報告 報酬助成について 任意後見制度の利用促進について
第3回 全大会	11/14	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援の浸透について 受任者調整会議について 受理簿(R4年度上半期)報告 市民後見人活動について 報酬助成について 専門相談について 申立て支援の強化について スクリーニングについて
第4回 全大会	2/10	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援の浸透について 受任調整会議について スクリーニングについて R5年度のスケジュール案について 報酬助成について 専門相談について 市民後見人活動について

②成年後見サポートセンター活動（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

相談・問合せ件数	487件	一般 権利擁護支援相談窓口	451件 36件
関係機関との連絡調整等	92件	福祉専門機関、行政機関、公益団体、等	

③研修会

開催日	講座名・講師名	開催形式	受講者数
5/13	テーマ「成年後見制度の基礎について学ぼう」 開催形式 動画視聴	オンライン	Web21名
5/30	テーマ「いざという時のために知って安心 ～遺言・任意後見など～」 講師 大阪弁護士会所属堺法律事務所 大江千佳弁護士	集合研修及び オンライン研修	集合、Web 計41名
10/27	地域包括支援センター担当職員研修(共催：基幹型包括) テーマ「成年後見制度の申立て支援について～」 講師 大阪社会福祉士会 宮田英幸氏	集合研修	集合28名

④研修会等への職員派遣

開催日	講座名・講師名	開催形式	派遣内容
7/8	しゃべりま専科「確実に来る未来のためにPart1」	集合研修	講師
1/16	東大阪市生涯学習出前講座「成年後見制度ってなに？」	集合研修	講師

7. 基幹型地域包括支援センター（角田・荒川）

地域包括支援センターは、一人ひとりの高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援することを目的に設置されている。市内22カ所のうち当協議会は2カ所を運営し、基幹型地域包括支援センターとして、高齢者支援に関わる諸活動を総合的に調整・推進することを目的に設置された東大阪市高齢者地域ケア会議の事務局の役割を担っている。

今後益々、ひとり暮らしや高齢者夫婦のみ世帯、介護を必要とする高齢者の増加が予測され、高齢化が進む中では地域において、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「住まい」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現することが重要となる。

地域包括ケアシステムの中核機関として、第1層の生活支援コーディネーターの役割を担い、担当地域の第2層の生活支援コーディネーターと連携し、地域福祉活動実践者や医療・介護・福祉などの専門機関とネットワークの構築に取り組んだ。

令和5年度から2カ所の基幹型地域包括支援センターを「角田」に一元化するための準備に取り組むとともに各地域包括支援センターとの総合調整や後方支援等の役割などの機能強化を図った。

(1) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (見込)
角田	270	262	334	251	327	286	285	265	311	296	289	273	3,449
荒川	461	554	481	467	458	497	415	424	461	478	535	594	5,825

相談内容内訳

項目	相談 件数	相談者				相談内容（重複相談含む）								
		本人	家族	ケア	他	介護 保険	介護	福祉 サービス	保健 医療	家族 関係	介護 予防	基本 ケア	他	
角田	3,449	内 訳	430	570	400	2,049	2,633	1,500	446	489	1,083	19	10	40
荒川	5,825		620	862	627	3,716	4,159	2,319	1,528	827	1,486	25	15	1,019
合計 (見込)	9,274		1,050	1,432	1,027	5,765	6,792	3,819	1,974	1,316	2,569	44	25	1,059

(2) 介護予防支援（給付管理数）（見込）

角田		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	自ラテ	36	35	33	27	27	26	21	20	18	16	14	14	287
他ラテ	187	193	188	189	187	202	207	199	204	199	202	203	2,360	
計	223	228	221	216	214	228	228	219	222	215	216	217	2,647	
荒川	自ラテ	104	103	99	98	98	95	92	91	89	86	86	89	1,130
	他ラテ	322	319	324	328	329	333	338	341	341	337	337	340	3,989
	計	426	422	423	426	427	428	430	432	430	423	423	429	5,119

(3) 地域介護予防推進事業

〈角田〉

開催日	回数	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第1(水)	10	岩田自治会館	楽しくトライ体操	地域包括支援センター角田	138
第1(木)	11	稲葉第2自治会館	いなば第2ひまわり体操教室	地域包括支援センター角田	114
第2(金)	10	岩田自治会館	おやしからえトライ	地域包括支援センター角田 喜馬病院 理学療法士	236
第1(水)	10	岩田自治会館	家族介護教室	地域包括支援センター角田	51
4/24		西岩田自治会館	友楽会 高齢者の食事について	地域包括支援センター角田	24
4/25		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	6
6/10		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	9
6/19		稲葉第1自治会館	落語会等	地域包括支援センター角田	33
7/8		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	11
8/27		稲葉第1自治会館	民謡会等	地域包括支援センター角田	52
9/16		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	4
12/8		河内薬剤師会会議室	タブレット教室	地域包括支援センター角田	4
12/18		稲葉第1自治会館	歌声広場	地域包括支援センター角田	42
12/22		河内薬剤師会会議室	タブレット教室	地域包括支援センター角田	4
1/25		稲葉第1自治会館	交流の場について	地域包括支援センター角田	4
3/26		稲葉第1自治会館	演芸鑑賞等	地域包括支援センター角田	38

〈荒川〉

開催日	回数	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第1・3(火)	30	近江堂リゾートホテル	介護予防体操と脳トレ	地域包括支援センター荒川	340
第2(水)	0	わかば温泉	介護予防体操と歌教室 ※新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため開催中止	地域包括支援センター荒川	0
第1(木)	18	長瀬北公民分館	介護予防体操と脳トレ	地域包括支援センター荒川	196
5/24	1	弥刀公民分館	認知症予防・脳トレ	地域包括支援センター荒川	31
6/21	1	長瀬東公民分館	認知症予防・脳トレ	地域包括支援センター荒川	20
6/24	1	長瀬北公民分館	家族介護教室	地域包括支援センター荒川 語り部 田中氏・前田氏	5
10/11	1	さくらテラス	認知症予防・脳トレ	地域包括支援センター荒川	23
11/15	1	長瀬東公民分館	便秘と薬について	地域包括支援センター荒川 布施薬剤師会	23
11/22	1	弥刀公民分館	健康寿命について	地域包括支援センター荒川	37

(4) 認知症カフェ

〈角 田〉

開催日	回数	場 所	実施内容	人数
第2(金)	10	岩田自治会館	認知症の方やその家族の方と、地域住民の方との交流及び専門職によるコグニ体操	75

〈荒 川〉

開催日	回数	場 所	実施内容	人数
第2(木)	0	特別養護老人ホーム かわち野里なかせ 1階地域交流室	認知症になっても住み慣れた場所で暮らし続けるために、地域の方々や医療・介護の専門職とつながり顔なじみになり、情報交換ができ気軽に立ち寄り、おしゃべり、相談ができる場所を目的とする。※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止	0

(5) 地域包括支援センター連絡調整会議 12回（毎月第3木曜に開催）

(6) 地域包括支援センター担当職員研修会

開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
6/14	角田総合老人センター 2階 研修室	Pepperを活用した認知症キッズサポーター養成講座について ～Pepperの操作を学ぶ～	Softbank(株) 黄瀬氏・山口氏 角田総合老人センター 高齢者地域支え合い事業事務局	34
6/29	角田総合老人センター 2階 研修室	孤独・孤立状態にある人への伴走型支援に求められること	同志社大学社会学部 社会福祉学科教授 空閑浩人氏	30
7/26	角田総合老人センター 2階 研修室	「保健師看護師研修」 ①東大阪市の健康課題の把握 ～高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にむけて～ ②保健師看護師の交流	地域包括ケア推進課職員	32
10/27	東大阪市 社会福祉協議会 会議室A・B	成年後見制度の申立て支援について	東大阪市成年後見サポートセンター 東大阪市成年後見制度 利用促進協議会 委員 大阪社会福祉士会 宮田氏	28
11/15	角田総合老人センター 2階 研修室	「東大阪市高齢者虐待防止業務ガイドライン」について	地域包括ケア推進課 山口副主幹	37
12/14	角田総合老人センター 2階 研修室	「保健師看護師研修」 ①地域課題の整理 ～担当地域のデータをみてみよう～ ②保健師看護師の交流	地域包括ケア推進課職員	29
12/16	東大阪市 社会福祉協議会 会議室A・B	「生き物と暮らす高齢者の支援に悩んでいませんか？」 ～ねこを通して対人援助を学ぶ～	NPO法人 人もねこも一緒に支援 プロジェクト 代表 ねこから目線株式会社 代表 小池英梨子氏	28

開催日	場 所	テ-マ	講 師	参加人数
3/15	角田総合老人センター 2階 研修室	「保健師看護師研修」 ①地域課題の整理② ～アセスメントから見えてくるもの～ ②「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」での保健師看護師の役割 ③保健師看護師の交流	地域包括ケア推進課職員	35

(7) 東大阪市高齢者地域ケア会議

会 議 名	回数	内 容	事務局
機関等代表者会議 (委員35名) 【第1層協議体】	1	機関等の代表者が地域ケア会議の活動状況を把握し、機関間の調整を図るなど、高齢者支援に関わる諸活動を総合的に調整、推進する。	基幹型
企画運営会議 (委員15名)	11	地域ケア会議全体の運営を協議調整し、推進するとともに、個別支援策検討会議及び高齢者生活支援等会議の活動の中で見出される共通の課題等を整理検討し、解決のために必要な活動を行う。	基幹型
高齢者生活支援等会議 【第2層協議体】	68	「定期的な情報共有・連携強化の場」として地域の高齢者の生活支援等にかかる課題や情報を共有し、情報の見える化の促進、相互の連携の強化、支援の質の向上や社会資源の開発及び活動の推進等に必要な働きかけを行う。 ※中学校区（日常生活圏域）を担当している地域包括支援センターがそれぞれの中学校区・小学校区毎で会議を開催している。	担当地域包括支援センター
個別支援策検討会議 (虐待疑い事例に関する会議415回を含む)	538	高齢者虐待疑いや支援困難な事例に対し、ひとつの機関等では支援が難しい高齢者等について、関係機関等と東大阪市が具体的な支援の方策を検討する。基幹型地域包括支援センターは、担当地域包括支援センターが開催する会議に出席し連携、協力して問題解決の支援を行う。	担当地域包括支援センター
高齢者虐待防止専門会議	12	高齢者虐待が疑われる事例について、その支援の進行状況を管理、点検、検証することで、支援の継続を確実にする。また、共通の課題等については地域ケア会議の活動に反映している。	基幹型
自立支援型地域ケア個別会議	0	多職種の専門的な視点に基づく助言を通して、介護予防・自立に資するケアマネジメントの実践力を高め、高齢者のQOLの向上をめざす。	地域包括ケア推進課・給付管理課

(8) 高齢者生活支援等会議

<角田>

	開催日	開催場所	内 容
第1回	5/27	岩田自治会館	①高齢者生活支援等会議について ②社会資源マップの作成について
第2回	7/5 7/6	稲葉第一自治会館 岩田公民分館	①社会資源マップの作成について
第3回	10/28	岩田公民分館	①社会資源マップの作成について ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業について
第4回	2/17	岩田公民分館	①社会資源マップについて ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業について ③R5年度の高齢者生活支援等会議について

<荒川>

	開催日	開催場所	内 容
第1回	7/15	近江堂リージョン センター文化ホール	【金岡中学校区】 昨年度の振り返り 東大阪市の高齢者の現状と健康課題 地域におけるコロナフレイルの影響と生活習慣病について
	7/25	近江堂リージョン センター文化ホール	健康寿命延伸の為に今年度の取り組みについて 【弥刀中学校区】 昨年度のふりかえり コロナ禍においてフレイル・生活習慣病増加に伴う 地域の課題
第2回	10/14	近江堂リージョン センター文化ホール	【金岡中学校区】 前回会議の振り返り 「フレイル予防健康講演会（仮称）」について
	10/24	近江堂リージョン センター文化ホール	【弥刀中学校区】 前回のふりかえり 「フレイル予防健康講演会（仮称）」について
第3回	12/21	近江堂リージョン センター文化ホール	【金岡中学校区】 講演会の振り返り・意見交換 令和5年度の取り組みについて
	12/2	近江堂リージョン センター文化ホール	【弥刀中学校区】 講演会のふりかえり・意見交換 令和5年度の取り組みについて
講演会	12/2 12/21	近江堂リージョン センター文化ホール	講座「毎日健康に暮らすためのヒント」 講師：高齢者生活支援等会議の医療機関メンバー及び 地域の介護保険事業所職員 延べ人数（123名）

(9) 多職種連携研修会

<角田>

開催日	参加人数	開催場所	内容
6/24	14	河内医師会会議室及び オンライン（ZOOM）	昨年度の振り返り 第6波の状況・影響について 「きらっと玉川通信」の作成について
10/19	28	角田総合老人センター 2階 研修室	フレイル予防講座 「コロナ禍におけるフレイル予防について」の開催 グループワーク・意見交換

<荒川>

開催日	参加人数	開催場所	内容
6/12	11	オンライン（チームズ）	昨年度の振り返り・今年度の取り組みについて
8/8	13	オンライン（チームズ）	コロナ禍で地域の高齢者の状態等気になることについて
10/31	14	オンライン（チームズ）	新地域包括の紹介、多職種連携全体研修会の内容について
12/12	12	オンライン（チームズ）	ウイズコロナの事業所の現状や医療からの情報提供について
12/17	27	オンライン（ZOOM）	第1回多職種連携全体研修会「ウイズコロナにおいて多職種 同士で情報共有しませんか？」～今後の感染拡大にそなえる ために～事業所の現状報告と医療からオーラルフレイル、無 料定額診療、新型コロナ治療薬、KISA2 隊等の情報提供を 行う
2/13	13	オンライン（ZOOM）	多職種連携全体研修会の振り返り、令和5年度の多職種 連携研修会の方向性について

(10) 個別支援策検討会議

個別支援策検討会議	角 田	荒 川	基幹型以外	合 計
() 内は虐待事例	258 (214)	278 (201)	2 (0)	538 (415)

(11) 生活支援コーディネーター連絡会

	開催日	参加人数	開催場所	内 容
第1回	6/15	33	角田総合老人センター 2階研修室	①社会資源マップについての発表 ②単位地域ケア会議についての発表 ③通いの場の実態把握調査について ④大阪ええまちプロジェクトのご案内と意見交換
第2回	11/8	26	角田総合老人センター 2階研修室	①社会資源マップについての発表 ②単位地域ケア会議についての発表 ③一般介護予防事業「トルクひがしおおさか」 ④グループワーク・発表
第3回	2/22	30	角田総合老人センター 2階研修室	①社会資源マップについての発表 ②単位地域ケア会議についての発表 ③今後の高齢者生活支援等会議の進め方と高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について ④グループワーク・発表

(12) 全体研修会

今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため開催中止

(13) 東大阪市認知症本人活動支援推進ワーキンググループ会議 (委員14名)

開催日	回数	内 容	事務局
第2 (火)	9	認知症の人が、認知症になってもその人のもつ能力や意志が尊重され、住み慣れた地域社会で、可能な限りその人らしく暮らし続けることができるための場の創出や、今ある支援の場につながるためのしくみの構築にあたり、市の課題を抽出、検討し、関係機関と協働の上課題解決に取り組む。認知症本人交流会「楽Café」実施・認知症本人が活動できる場の検討等	基幹型

(14) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

<角田>

取り組み内容		内 容	対象者
通いの場でのフレイル講座	6カ所	・フレイルチェック ・舌の圧力測定 ・オーラルフレイル予防講座	1回目：91名 2回目：81名
保健師との同行訪問	6件	・重症化予防 ・健康状態不明者	2名 4名

(15) 学生を対象とした活動

開催日	対 象	講 義	内 容
9・10月	大阪市立大学医学部 (看護学科4回生)	在宅看護学分野実習	同行訪問等(1名につき4日間) 計10名受入

(16) 東大阪市在宅高齢者介護者リフレッシュ事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止

IV. 玉串こども園

幼保連携型認定こども園として

1. 保育理念「子ども一人一人を大切に、健全な発育および地域福祉の推進を図りながら、教育、保育を積極的に増進する」に基づき、「はだし保育」「愛着関係のめばえの大切さ」「自己肯定感の育成」について園内研修会などで職員間の共通理解を深め、教育、保育方針として、四季折々の季節を感じる保育の経験や「体育」「音楽」「絵画造形」「言語」「食育」などのカリキュラムを通して、豊かな心を育み、「心情・意欲・態度」が育つよう、教育・保育活動の展開を実践してきた。
2. 一時預かり事業の推進を図る中で職員体制的に受け入れの厳しい日もあったが、就労されている方に限らず、近年増加してきている、育児困難となっている保護者の方にもリフレッシュの時間を提供できるよう、様々な保育ニーズにこたえていくことができた。
3. 地域子育て支援事業では、在宅で子育てをしている保護者が参加しやすいプログラムや憩いの場として喜ばれ、子どもにとってもお友達作りやコミュニケーションの場として事業展開してきた。また園庭開放については、新型コロナウイルス感染予防を考慮し大阪モデルが赤信号時以外の時は保護者の判断により参加していただく形で開催できた。登録型「ドレミファランド」や、公民分館に出向く「お出かけ保育」として、「スクスクランド」（月2回）及び「ぴよぴよランド」（月1回）等のあそびの広場や、市の方より引き継ぎ、生後3カ月～1歳の誕生月までを対象とする「赤ちゃん広場」（月1回）も状況に応じて実施し、校区福祉委員会との連携により子育て支援の幅を広げることができ、少しずつコロナ禍以前の形にもどりつつある。
また、大阪府認定の「スマイルサポーター（保育園における地域貢献支援員）」の資格を有する職員（6名）が育児相談の担い手となっている。
4. 世代間交流事業は、徐々に取り組みの予定がされていたが昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業が中止となった。地域の方のご協力により、お芋掘り、田植えや稲刈りなどを通じて園児が地域の方とふれあうことができた。

（年間行事報告）

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	1	・令和4年度保育開始	5	9・16・23	・ドレミファランド
	2	・第3回入園式		10	・うたあそび ・防犯訓練
	4～16	・慣らし保育期間		11	・ぴよぴよランド
	6・20	・体育あそび ・スクスクランド		11	・じゃがいも掘り
	8・22	・のびのびキッズクラブ（3歳児）		13・27	・のびのびキッズクラブ（3歳児）
	11・18	・ドレミファランド		16	・歯科検診
	11～18	・クラス懇談会		17	・内科検診 ・避難訓練
	12	・うたあそび		18	・もぐもぐパワー・スクスクランド
	13	・絵画指導 ・ぴよぴよランド		18・31	・体育あそび
	15	・交通安全指導		19	・幼児園外保育(ドリーム21)
	19	・野菜苗植え		23・24	・身体計測
	20	・もぐもぐパワー		24	・誕生会
	21	・防犯教室、防犯訓練		25	・絵画指導
	21	・手話指導		26	・手話指導
25・26	・身体計測	27	・さつま芋の苗植え（5歳児）		
26	・誕生会	30	・運動会予行練習		
27	・赤ちゃん広場 ・避難訓練				
28	・こどもの日の集い				
6	1	・田植え（5歳児）	7	1	・おたのしみ保育（5歳児）
	3	・わんぱくフェスティバル		4・11	・ドレミファランド
	3・17	・のびのびキッズクラブ（3歳児）		6・20	・体育あそび ・スクスクランド
	6・20・27	・ドレミファランド		7	・七夕の集い
	8	・ぴよぴよランド		11～	・プール遊び、水遊び中止
11	・第3回運動会	12	・うたあそび		

月	日	行 事 内 容	月	日	行 事 内 容
6	14	・うたあそび	7	13	・絵画指導 ・びよびよランド
	15	・プール開き ・もぐもぐパワー		14	・プール閉まり
	15	・スクスクランド		15	・のびのびキッズクラブ (3歳児)
	15、29	・体育あそび		16	・玉串フェスタ
	16	・手話指導		21	・手話指導 ・もぐもぐパワー
	20・21	・身体計測		25・26	・身体計測 ・水遊び (25～)
	21	・誕生会 ・防犯訓練		26	・誕生会 ・避難訓練
	22	・絵画指導 ・赤ちゃん広場		27	・防犯訓練
24	・避難訓練				
8	3・17	・スクスクランド	9	2	・避難訓練(大阪府880万人訓練)
	3・31	・体育あそび		2・9・16	・のびのびキッズクラブ (3歳児)
	4	・手話指導		5・12・26	・ドレミファランド
	9	・避難訓練		7・21	・体育あそび ・スクスクランド
	10	・びよびよランド		8	・手話指導
	16	・防犯訓練		9	・お月見会 ・敬老の集い
	17	・もぐもぐパワー		12～30	・個人懇談会 (全園児)
	22・23	・身体計測		13	・うたあそび
	23	・誕生会		14	・びよびよランド
	24	・絵画指導 ・赤ちゃん広場		14・28	・絵画指導
30	・うたあそび	15	・お祭りごっこ		
			20	・防犯訓練	
			20・21	・身体計測	
			22	・誕生会	
			28	・赤ちゃん広場	
10	1	・創立記念日	11	1	・焼き芋パーティー
	3	・幼児園外保育(枚岡公園)		2・16	・体育あそび ・スクスクランド
	3・17・24・31	・ドレミファランド		4・18	・のびのびキッズクラブ (2歳児)
	4	・防犯訓練 (河内警察)		7・14	・ドレミファランド
	5・19	・体育あそび ・スクスクランド		8	・私立保育会記念イベント (花園ラグビー場開放)
	6	・稲刈り (5歳児)		9	・絵画指導 ・びよびよランド
	11	・うたあそび		10	・手話指導
	12	・びよびよランド		11	・避難訓練 (消防署来園)
	12・26	・絵画指導		15	・うたあそび ・内科検診
	13	・手話指導		16	・もぐもぐパワー
	13・27	・さつまいも掘り		17	・生活発表会第1回予行
	14・28	・のびのびキッズクラブ (2歳児)		21・22	・身体計測
	18	・避難訓練 (炊き出し訓練)		24	・誕生会
	19	・もぐもぐパワー		29	・生活発表会第2回予行
	20	・さつまいも掘り		30	・赤ちゃん広場
	21	・秋祭り		21	・防犯訓練 (実施日未定)
	24・25	・身体計測			
	25	・誕生会			
	26	・赤ちゃん広場			
	27	・ハロウィンパーティー(保護者参加型)			
31	・もぐもぐパワー				

月	日	行事内容	月	日	行事内容
12	3	・第3回生活発表会	1	6	・新年子ども会、どんど焼き
	5	・マラソン、乾布摩擦開始		6	・もぐもぐパワー
	5・12・19	・ドレミファランド		10	・うたあそび
	6	・防犯訓練		11	・ぴよぴよランド
	7・21	・体育あそび ・スクスクランド		11・18	・体育あそび
	8	・手話指導		11・25	・絵画指導
	9・16	・のびのびキッズクラブ（2歳児）		12	・手話指導
	13	・うたあそび		13・20	・のびのびキッズクラブ（2歳児）
	14	・絵画指導 ・ぴよぴよランド		16	・防犯訓練
	15	・おもちゃつき会		16・23	・ドレミファランド
	19	・避難訓練		18	・スクスクランド
	19・20	・身体計測		23	・避難訓練
	20	・誕生会		23・24	・身体計測
	21	・もぐもぐパワー		24	・誕生会
22	・クリスマス会	25	・赤ちゃん広場		
28	・赤ちゃん広場				
2	1・15	・体育あそび ・スクスクランド	3	1・15	・体育あそび ・スクスクランド
	2	・節分の集い		1～10	・クラス懇談会（0～5歳児）
	8	・ぴよぴよランド		2	・ひなまつり会
	8・22	・絵画指導		7	・お別れ会（5歳児とのお別れ）
	9	・手話指導		7	・防犯訓練
	10	・のびのびキッズクラブ（2歳児）		7・8	・身体計測
	14	・うたあそび		8	・絵画指導
	15	・もぐもぐパワー		9	・誕生会 ・手話指導
	16～18	・作品展		9	・もぐもぐパワー
	20	・卒園進級記念写真撮影		10	・のびのびキッズクラブ（2歳児）
	21	・お別れ遠足（4・5歳児）		10	・避難訓練（消火訓練）
	21・22	・身体計測		14	・うたあそび
	22	・赤ちゃん広場		18	・第3回卒園式
	24	・誕生会		22	・赤ちゃん広場
	24	・避難訓練（保護者参加）		30	・JAさん絵本読み聞かせの会
	27	・ドレミファランド		31	・令和4年度保育終了
28	・お楽しみ会（もんぺ座公演）				
20	・防犯訓練（実施日未定）				